

大阪城公園パークマネジメント事業 令和元年度 事業報告書

大阪城パークマネジメント共同事業体

(代表者)

大阪府大阪市中央区大坂城1番1号

大阪城パークマネジメント株式会社

代表取締役 木下 健治

【担当者】



目 次

1. 平成元年度の事業報告についての概要	P 2
2. 成果指標にかかる数値結果等	P 4
3. 令和元年度 収支実績報告書	P 5
4. 大阪城天守閣にかかる事業報告書	P 11
5. 駐車場にかかる事業報告書	P 26
6. 大阪城音楽堂にかかる事業報告書	P 27
7. 大阪城西の丸庭園、迎賓館、豊松庵にかかる事業報告書	P 29
8. 大阪城野球場にかかる事業報告書	P 32
9. JO-TERRACE OSAKA にかかる事業報告書	P 34
10. MIRAIZA OSAKA-JO にかかる事業報告書	P 37
11. 森之宮噴水エリアにかかる事業報告書	P 41
12. COOL JAPAN PARK OSAKA にかかる事業報告書	P 42
13. 園内交通システムにかかる事業報告書	P 44
14. 施設・公園管理にかかる事業報告書	P 46
15. 植栽管理にかかる事業報告書	P 50
16. 観光拠点化推進にかかる事業報告書	P 56

1. 令和元年度の事業報告についての概要

平成 30 年度に当初予定していた魅力向上事業における施設整備がすべて完了し、当年度はこれらの施設を生かした誘致活動などの P R 施策やイベントの実施、来園者への案内機能の強化と歴史的魅力の発信に取り組みました。そして維持管理においては省エネへの取り組みや既存ストックを活用した魅力発信、懸案箇所の計画的な修繕や美装化に取り組みました。

P R 活動においてはゴールデンウィーク、夏休み、正月の繁忙期に多くの来園者に各施設利用を訴求する狙いでメディアを活用した広告や JO-TERRACE OSAKA 及び MIRAIZA OSAKA-JO 共通で利用者へオリジナルの粗品の配布を行い、夏にはクールジャパンパーク大阪のスタッフなど園内施設のスタッフが噴霧器で水を来園者に噴霧する等、公園全体の施設が参加する P R 活動への取り組みを行いました。また、5 月に台湾の台北及び高雄で開催された旅行博や 10 月の大阪で開催されたツーリズム E X P O ジャパン、12 月に横浜で開催されたお城 E X P O といった各種 P R イベントへも積極的に参加いたしました。ホームページについても多言語化や園内各施設の内容の分かりやすさなどを目的として全面的にリニューアルを実施しました。

園内のイベントにおいては 4 月の西の丸庭園での「観桜ナイト」、3 月 30 日から 6 月 2 日まで実施した季節限定のバーベキュー「和ーベキュー」、5 月に太陽の広場での「餃子フェス」、9 月に「大阪城トライアスロン」や今年初めての取り組みである「大阪城マルシェ」、10 月の「クラフトビアホリデイ」、11 月の「ラーメンフェスタ」、11 月～3 月にかけて西の丸庭園において「大阪城イルミナージュ」、一部営業休止日がありましたが通年開催の大阪城ナイトウォーク「サカヤルミナ」を実施しました。天守閣においてもこれまでと同様に天守閣前広場においてゴールデンウィークのファミリーフェスティバル、夏の豊国踊り、秋祭り及び迎春イベントを実施いたしました。また、6 月には西の丸庭園の大阪迎賓館において G 20 大阪サミットの夕食会が開催され、大阪城天守閣を借景に各国首脳が記念撮影するなど世界に向けて大阪城を P R することができました。

歴史的魅力の向上に資する目的で令和元年の観光庁及び文化庁の文化財多言語化の補助事業を活用した史跡案内板を新たに 20 か所整備しました。現在の MIRAIZA OSAKA-JO である旧陸軍第四師団司令部庁舎をはじめ主に近代遺産を中心に案内板を設置し、英語以外に簡体字、繁体字、韓国語の多言語での案内をホームページに掲載し、現場に設置した Q R コードにリンクさせました。今後、既存の案内板を含めた多言語化やホームページでの掲載を進め歴史公園としての大阪城公園の価値向上を図っていきたいと考えております。

維持管理においては大手門から城南エリアにかけて 207 灯の公園灯の L E D 化を実施し、これまで実施した 677 灯と合わせて計 884 灯の公園灯が L E D となりました。公園灯の L E D 化については省エネ化における電気料金の節約分を器具の投資に充てるスキームで投資回収も図りながら利用電力を削減する取り組みとしてこれまで実施してきましたが、今回で全公園灯 907 灯の 97%を L E D 器具に交換することができております。また、梅の季節には梅林内に案内板を設置して樹種や配置、見どころを案内するほか、ボランティアの方にもご協力いただき、樹種の表示

や梅にちなんだ和歌の掲示なども行いました。また、城南玉造口の進入路の舗装改修や降雨時に水たまりのできる雨水排水管の計画的な高圧洗浄、本丸内トイレの洋式化といった日常の維持管理だけでは網羅できない公園機能の向上にも取り組みました。

成果指標における数値結果においては、天守閣の入場者数は2月3月に新型コロナウイルスによる入館者減少及び閉館の影響があり218万人となり平成30年度を下回りました。しかしながら、新たな施設整備による収益増などで変動納付金は33,907,766円と成果指標の設定額を上回る結果となりました。また、満足度調査においては天守閣が89.1%、公園全体が88.9%とともに計画及び平成30年度実績を上回ることができました。

反省点としましては施設間の連携にまだ課題があり、例えば天守閣の実施するイベントや展示とその他各施設の連携等をさらに強化し一体感のある魅力発信を行っていく必要性を感じております。また、他にも桜梅桃李などの花木を活用した公園としての季節に応じた魅力発信においても一部取り組み始めているものの大阪城公園全体としての施設間の連携はさらに図れる余地があると考えています。引き続き大阪城公園の観光地としての魅力と市民の憩いの場としての魅力を高めるとともに来園者の周遊性向上に向けた取り組みを継続していきたいと思っております。

2. 成果指標にかかる数値結果等

(1) 大阪城天守閣の入場者数

年間入場者数 **2,181,850 人** (計画数値：255 万人)

(2) 大阪城公園本丸エリアへの来園者数(推計)

年間来園者数 **469 万人**(推計) (計画数値：548 万人)

(天守閣の入場者数×2.15 倍、平成 27 年度～29 年度実施の動向調査による平均推計値)

(3) 大阪城公園への来園者数(推計)

年間来場者数 **986 万人** (計画数値：1,153 万人)

(天守閣の入場者数×4.52 倍、同上)

(4) 大阪城野球場、大阪城西の丸庭園、豊松庵、大阪城音楽堂の利用者(件)数

大阪城野球場：年間利用件数 **948 件** (計画数値：900 件) 稼働率 45%

大阪城西の丸庭園：年間有料入園者数 **295,029 名** (計画数値：400,000 人) 稼働率 100%

豊松庵：年間利用件数 **132 件** (計画数値：120 件) 稼働率 41%

大阪城音楽堂：年間利用件数 **94 件** (計画数値：100 件) 稼働率 32%

(5) 大阪城公園利用者への満足度調査結果

※令和元年 10 月 18 日(金)～20 日(日)実施の動向調査による。(非常に満足、まあまあ満足、普通、あまり満足でない、不満足)の 5 段階評価)

天守閣 満足度(非常に満足、まあまあ満足) **89.1%** (計画数値：85%)

設問：「本日、大阪城天守閣に来館されての満足度を教えてください。」

回答者数：2,202 名

公園全体満足度(同上) **88.9%** (計画数値：85%)

設問：「本日大阪城公園にご来園されての満足度を教えてください」

回答者数：2,202 名

(6) 大阪市への納付金額

基本納付金 260,000,000 円

変動納付金 33,907,766 円(計画 29,543,000 円)

※実際の納付額は、新型コロナウイルス拡大防止のための大阪城天守閣休館に伴う大阪市からの補填額等と相殺。(詳細は次頁「収支実績報告書」のとおり)

3. 令和元年度 収支実績報告書 (単位: 円、消費税抜額)

事業名	事業全体					個別 事業名	大阪城公園維持管理						
	項目				令和元年度		項目					令和元年度	
	大阪城公園利用収益				212,858,490								
	西の丸庭園、豊松庵、迎賓館				118,056,372								
	駐車場				420,452,156								
	JO-TERRACE OSAKA				292,962,536								
	MIRAIZA OSAKA-JO(旧第四師団司令部庁舎)				329,745,609								
	森ノ宮噴水エリアC噴水前3店舗、案内所)				32,952,000								
	屋内音楽堂(クールジャパンパーク)				144,261,500								
	大阪城天守閣				1,101,632,409								
	大阪城音楽堂				32,196,492								
(1)売上高					2,685,117,564	(1)売上高							0
	JO-TERRACE OSAKA				765,692								
	大阪城天守閣				1,000,819								
(2)売上原価					1,766,511	(2)売上原価							0
(3)売上原価益((1)-(2))					2,683,351,053	(3)売上原価益((1)-(2))							0
	大阪城公園維持管理				443,249,521								
	大阪城公園利用収益(野球場、売店、園地施設・利用				92,131,828								
	西の丸庭園、豊松庵、迎賓館				51,343,031								
	駐車場				99,543,877								
	JO-TERRACE OSAKA				209,282,789								
	MIRAIZA OSAKA-JO(旧第四師団司令部庁舎)				275,492,043		管理委託費等					268,032,550	
	森ノ宮噴水エリアC噴水前3店舗、案内所)				5,986,319		水道光熱費					42,086,018	
	屋内音楽堂(クールジャパンパーク)				7,063,052								
	大阪城天守閣				536,061,986		備品費					32,759,915	
	大阪城音楽堂				56,297,061		消耗品費					1,597,537	
							修繕費					4,806,100	
							保守維持費					832,000	
							その他					3,950,733	
							<上記の小計>					354,064,853	
							改修費					31,572,000	
							減価償却費					8,821,543	
	(4)共通経費			※1	0		特記:本丸売店解体処分費(先行実施分)					28,360,000	
(4)販売費及び一般管理費					1,776,451,507		【事業直属費計】					422,818,396	
(5)営業損益((3)-(4))					906,899,546		共通費					20,431,125	
	個別事業計				124,376,564	(4)販売費及び一般管理費						443,249,521	
	その他				2,416,902	(5)営業損益((3)-(4))						-443,249,521	
①営業外収益 小計					126,793,466		雑収入					2,293,182	
	個別事業計				37,285,780		本丸売店解体処分費(大阪市より)※					34,441,200	
	その他				1,375,912		大阪府補助金交付(本丸トイレ50%)					13,030,000	
②営業外費用 小計					38,661,692		文化庁補助金交付(多言語解説板68%)					12,981,000	
(6)営業外損益 総計(①-②)					88,131,774	①営業外収益 小計						62,745,382	
(7)税引前当年度損益 ((5)+(6)-(10))					701,123,554		支払利息相当額(リース契約)					777,565	
(8)法人税、住民税、事業税、その他公租公課					216,726,900		本丸売店解体処分費			※		34,441,200	
(9)当年度損益((7)-(8))					484,396,654								
	基本納付金			※2	260,000,000								
	変動納付金			※3	33,907,766								
(10)大阪市への納付金					293,907,766	②営業外費用 小計						35,218,765	
(11)前年度繰越利益剰余金(前年度の(12))					1,567,506,984	(6)営業外損益 総計(①-②)						27,526,617	
(12)当年度繰越利益剰余金((9)+(11))					2,051,903,638	(7)当年度損益((5)+(6))						-415,722,904	
							※ 消費税を含む金額						

[illegible]

個別 事業名	駐車場					個別 事業名	JQ-TERRACE OSAKA				
	項目				令和元年度		項目				令和元年度
	城南バス駐車場				244,038,076		I 期(AーFテラス)店舗運営委託事業				193,350,313
	大阪城公園駅前普通車駐車場				95,231,689		直営オフィシャルショップ事業				23,106,007
	森ノ宮駅前駐車場				81,182,391		II 期(Gテラス・キャスルガーデン)店舗運営委託事業				76,506,216
	(1)売上高				420,452,156		(1)売上高				292,962,536
							直営オフィシャルショップ事業				765,692
	(2)売上原価				0		(2)売上原価				765,692
	(3)売上原価益((1)-(2))				420,452,156		(3)売上原価益((1)-(2))				292,196,844
							販売促進費(広告宣伝・催事)				2,153,357
							人件費				30,599,933
	管理委託費等				55,501,150		管理委託費等				82,468,132
	水道光熱費				310,012		水道光熱費				0
							備品・消耗品費				3,530,211
							賃借料(備品等)				1,004,006
	修繕費				0		修繕費				846,453
	保守維持費				480,000		保守維持費				568,080
	その他				1,736,064		その他				4,772,348
	<上記の小計>				58,027,226		<上記の小計>				125,942,520
	改修費				9,280,000		改修費				13,007,800
	減価償却費				8,267,976		減価償却費 I 期				10,573,867
							減価償却費 II 期キャスルガーデン				36,572,833
	【事業直属費計】				75,575,202		【事業直属費計】				186,097,020
	共通費				23,968,675		共通費				23,185,769
	(4)販売費及び一般管理費				99,543,877		(4)販売費及び一般管理費				209,282,789
	(5)営業損益((3)-(4))				320,908,279		(5)営業損益((3)-(4))				82,914,055
							雑収入				56,543
							施設整備負担金				2,154,300
	①営業外収益 小計				0		①営業外収益 小計				2,210,843
	支払利息(リース契約)				620,857		支払利息相当額(リース契約)・雑損失				184,611
							雑損失				45,559
	②営業外費用 小計				620,857		②営業外費用 小計				230,170
	(6)営業外損益 総計(①-②)				-620,857		(6)営業外損益 総計(①-②)				1,980,673
	(7)当年度損益((5)+(6))				320,287,422		(7)当年度損益((5)+(6))				84,894,728

個別 事業名	MIRAIZA OSAKA-JO(旧第四師団司令部庁舎)	個別 事業名	森ノ宮噴水エリア (噴水前3店舗、案内所)
項目		項目	
	令和元年度		令和元年度
店舗運営委託事業	257,671,207	噴水前3店舗運営委託事業	32,952,000
(地下)イリュージョン・ミュージアム	68,694,088		
(地下)殺陣道場	3,380,314		
(1)売上高	329,745,609	(1)売上高	32,952,000
(2)売上原価	0	(2)売上原価	0
(3)売上原価益((1)-(2))	329,745,609	(3)売上原価益((1)-(2))	32,952,000
販売促進費(広告宣伝・催事)	738,367	販売促進費(広告宣伝・催事)	4,574
人件費	11,264,634		
管理委託費等	64,286,520	管理委託費等	1,309,000
水道光熱費	8,115,172		
備品・消耗品費	1,736,358	備品・消耗品費	81,904
修繕費	642,477	修繕費	0
保守維持費	301,030	保守維持費	40,020
(地下)イリュージョン・ミュージアム	95,679,738		
(地下)殺陣道場	7,592,801		
その他	4,150,538	その他	0
<上記の小計>	194,507,635	<上記の小計>	1,435,498
改修費	700,000	改修費	0
減価償却費	52,386,609	減価償却費	2,756,000
【事業直属費計】	247,594,244	【事業直属費計】	4,191,498
共通費	27,897,799	共通費	1,794,821
(4)販売費及び一般管理費	275,492,043	(4)販売費及び一般管理費	5,986,319
(5)営業損益((3)-(4))	54,253,566	(5)営業損益((3)-(4))	26,965,681
	0		
①営業外収益 小計	0	①営業外収益 小計	0
支払補償金	19,800		
②営業外費用 小計	19,800	②営業外費用 小計	0
(6)営業外損益 総計(①-②)	-19,800	(6)営業外損益 総計(①-②)	0
(7)当年度損益((5)+(6))	54,233,766	(7)当年度損益((5)+(6))	26,965,681

9

個別 事業名	大阪城音楽堂		
	項目		令和元年度
	音楽堂 利用料		30,609,529
	付帯設備使用料		1,106,196
	ミーティングルーム使用料		292,366
	自動販売機 運営委託事業		188,401
	(1)売上高		32,196,492
	(2)売上原価		0
	(3)売上原価益((1)-(2))		32,196,492
	人件費		17,336,194
	管理委託費等		18,999,200
	水道光熱費		4,697,910
	備品費		640,046
	消耗品費・事務用品費		208,774
	修繕費		413,651
	保守維持費		
	その他		1,339,537
	＜上記の小計＞		43,635,312
	改修費		5,316,000
	減価償却費		3,266,731
	【事業直属費計】		52,218,043
	共通費		4,079,018
	(4)販売費及び一般管理費		56,297,061
	(5)営業損益((3)-(4))		-24,100,569
	①営業外収益 小計		0
	②営業外費用 小計		0
	(6)営業外損益 総計(①-②)		0
	(7)当年度損益((5)+(6))		-24,100,569

4. 大阪城天守閣にかかる事業報告書

大阪城天守閣の運営においては、令和元年度における新たな取り組みとして5月よりWEBチケットの販売を始めました。これまで入館券は原則的に当日券売機で現金購入のみでしたが、混雑時に入館券の列に並ばずに入館できるようになり、来館者の利便性が向上しました。また、館内及び周辺の誘導案内サインについても視認性及び美観向上のため更新しました。

令和元年度は「外交の舞台・大阪城」のキャッチコピーのもと、豊臣秀吉の時代から現代に至るまでたびたび重要な外交の舞台となってきた大阪城をテーマに歴史に因んだイベント等を立体的に展開しました。そして、実際の外交舞台として6月28日のG20大阪サミット夕食会の舞台として西の丸庭園・大阪迎賓館が選ばれたとともに11月2日～11月4日にはオーストリアのエッゲンベルク城との友好城郭提携10周年記念事業を実施し、今もなお外交の舞台として健在な大阪城ならびに大阪城天守閣の魅力を内外にアピールするとともに来館者の満足度向上に貢献しました。また、秋には特別展「豊臣外交」を開催し、集客促進のための、幅広い情報提供や広報宣伝にも力をいれました。

しかしながら、当年度の天守閣入館者数は、上記のようなアピール・集客促進努力にもかかわらず、前年度2,550,058人から368千人減（14.4%減）の2,181,850人となりました。この入館者減少の要因は主に次の2点と分析しています。一点目は7月以降の日韓関係の悪化が韓国民衆まで巻き込む日本ボイコット運動に発展し、これまで入館者の約16%を占めていた韓国からの来館者が壊滅的に減少したこと、二点目が1月に中国武漢市で発覚した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界的感染爆発（パンデミック）を引き起こしたことによる影響によるものでした。

なお、感染拡大防止のための大阪市からの指導により天守閣は2月29日以降、休館したまま年度末を迎えました。

【参考】韓中訪日者数の前年比伸率%（日本政府観光局の推計値）と天守閣入館者伸率

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
韓国	0.9	-7.6	-48.0	-58.1	-65.5	-65.1	-63.6	-59.4	-79.9
中国	15.7	19.5	16.3	25.5	2.1	21.7	18.5	22.6	-87.9
天守閣	4.0	11.9	-7.6	※21.6	-10.0	-3.6	-12.5	-7.9	-46.8

※平成30年9月に台風21号（激甚災害）で関西空港閉鎖等があった為、前年比増

1. 資料の収集、保管事業

当年度は「豊臣秀吉朱印海賊停止令」、「羽柴秀吉密書（上杉景勝宛）」、「前田利家画像」など13件の購入（大阪市）、「曲直瀬文書」1巻の寄付があったほか、「顕如上人書状」の修繕を実施しました。高い資料的価値と展示効果を有するこれらの資料を収集・管理する学芸員の業務に協力しました。

2. 展示事業

① 企画展示

2ヶ月を目途に文化財展示を全面的に更新し、そのつど3階・4階のフロアごとに、新しいテーマの展示を立案・実施しました。

当年度は、「サムライたちの躍動—大阪城天守閣名品セレクション—」、「描かれた城郭」、「大坂、大阪、『おおさか』」、「変わり兜と武者の美学」、「秀吉の家族・親族」、「徳川再築大坂城」の計6本の企画展示と夏の展示「戦国の群像～秀吉をとりまく人々～」を実施。夏の展示では、紀州蟄居時代の境遇を伝える「真田信繁（幸村）自筆書状」を特別公開して来館者の反響を呼びました。

② 特別展

「豊臣外交」（令和元年10月12日～11月17日）

「外交の舞台・大阪城」キャンペーンにあわせて、秋に特別展「豊臣外交」を開催しました。わが国が広く、深く外国と交際した豊臣時代に、国内では舶来の文物に影響された新しい文化が生まれました。いっぽう豊臣秀吉は外国に対して尊大で高圧的な態度を示しながらも、彼一流の手法による外交を展開しました。本展ではこの時代の対外交流と、虚々実々の豊臣外交にまつわる多様な資料を紹介しました。期間中(36日間)の入館者は253,167人(1日平均7,032人)の盛況となりました。

「豊臣家ゆかりの“天女の島”一びわ湖竹生島の歴史と宝物」

(令和2年3月20日～5月10日)

観音霊場として、また「天女」と呼ばれた弁才天をまつる聖地として、人々の信仰を集めてきた竹生島は、長浜城主だった秀吉から保護され、秀吉没後にも秀頼から堂舎再興の支援をうけるなど、豊臣家とも深い関係を結んでいました。島内には、豊臣時代大坂城の現存唯一の建築遺構ものこされています。本展では重要文化財「竹生島文書」をはじめ、仏画や仏像、刀剣、工芸品など竹生島宝厳寺の宝物を関連資料とともに展示しました。しかし、新型コロナウイルス（COVID-19）拡大防止のため臨時休館となり、来館者に公開することができませんでした。

③ テーマ展

「戦国の世の祈り」（平成31年3月21日～5月19日）

戦国時代、武将やその家族たちは、日々の営みの中で、あるいは人生の重要な局面で、祈りをささげ神仏の加護を受けようとしていました。都市では聖地へ巡礼する者や、彼らを聖地へ導く者が行き交い、政治や社会と神仏は、さまざまな関わりをもっていました。本展では大阪城天守閣の収蔵品の中から、神や仏の聖なる世界と、乱世に生きた人々とのつな

がりを示す多彩な文化財を紹介し、期間中(60日間)の入館者は523,741人(1日平均8,729人)の盛況でとなりました。

④ 常設展示

- ・5階「大坂夏の陣図屏風に描かれた武将たち」パネル全面張替
パネル上に貼付されていたアクリルボードが老朽化により落下する危険が生じたため、パネルを全面的に更新。アクリルボードを貼付しない形状に改めました。
- ・7階「豊臣秀吉と大坂城」中国語・韓国語パネル張替
劣化して表面が波打った状態になってきた「豊臣秀吉と大坂城」中国語(簡体字・繁体字)・韓国語パネルを全面的に更新しました。
- ・2階「鯉瓦(複製)」の表面仕上げ金箔補修
撮影スポットとして人気が高い鯉瓦レプリカ展示ですが、来館者が触れる部分の金箔が剥げてきたため補修しました。

3. 調査・研究事業

展示・普及事業の基礎として学芸員が実施する調査研究活動について側面的な協力を行いました。

4. 教育・普及事業

- ① 収蔵品や関連資料の写真を作成管理し、公共機関や研究者、出版・放送関係機関等からの掲載や複製作成、商品化の要望に応じ積極的に提供することで、資料の普及に努めました。
写真資料の提供数は550件1,436点におよびました。
また、天守閣所蔵の主要写真440点をデジタルデータ化しました。(PMOによる累計実績データ数は2,644点となりました。)
- ② 他の博物館施設等からの文化財貸出依頼に対する出品や、展覧会の企画や展示指導等に関する特別協力依頼に応じました。
- ③ 3階図録頒布コーナーについて、カウンターのシート張替およびハガキケース・リーフレット台・照明器具の更新等により美装化し、展覧会図録や名品絵はがき等の頒布品へ観覧者の関心がさらに集まるよう環境を整えました。
- ④ 館内に兜・陣羽織・小袖のレプリカ試着体験コーナーを設け、希望者(年間を通じて約29,000人)に体験の機会を提供しました。
- ⑤ 「重要文化財 大阪城の櫓 YAGURA 特別公開」との連携
平成31年度は約105,000人が櫓を観覧し、うち天守閣セット券による観覧が約32,000人でした。
(公開期間：平成31年3月2日～令和元年11月24日、令和2年3月1日～11月29日)

5. 学校や市民・各種団体等との連携に関する事業

① 学校や各種団体等との連携事業

- ・「第 48 回大阪城絵画展」(令和 2 年 1 月 2 日～1 月 31 日)
大阪の将来を担う幼稚園児・小学生・中学生が大阪城を大阪の誇りに思い、憩いの場としてより一層親しむと同時に、大阪の歴史・文化についての理解を深めることができるよう、大阪市内の市立幼稚園、小・中学校と連携し、大阪城の絵画を募集して入選作品を展示しました。(応募作品数 853 点、うち入選作品数 38 点)
- ・地域・市民団体や企業、大阪城公園内および周辺イベント(大阪歴史ウオーク 2019、大阪城サマーフェスティバル 2019、Happy Morning Run 他)と連携し、企画協力や相互広報・相互入場割引などを実施しました。
- ・「太閤なにわの夢募金」への協力
自主事業イベント「日本～悠久の歴史 大阪城ファミリーフェスティバル 2019」(令和元年 5 月 1 日～5 月 3 日)、「大阪城・エッゲンベルグ城友好城郭提携 10 周年記念 外交の舞台・大阪城～大阪城の秋まつり 2019～」(令和元年 11 月 3 日～11 月 4 日)において、PR ブースを提供しました。また、前年度に続き実行委員会事務局運営に参加し、主に出納業務を行いました。

② 地域との連携

- ・中央区民まつりに協賛・広告掲載するなどより多くの集客に努めました。
- ・大阪義士会「大阪義士会子ども四十七士」表敬訪問受入(令和元年 12 月 8 日)
子ども義士(未就学児～中学生以下)45 人と、保護者または同伴者(観覧料を免除)42 人の表敬訪問の受入を行いました。

③ 他の博物館等との連携

- ・博物館学実習として 7 月 22 日から 26 日の 5 日間にわたって、9 校から 10 人の大学生を受け入れ、学生の職場体験は 3 校から 9 人の受入を行いました。
- ・姉妹城・友好城郭連携事業
前年度より準備を進めていたエッゲンベルグ城との友好城郭提携 10 周年記念事業(令和元年 11 月 2 日～11 月 4 日)を大阪市と実行委員会形式で実施。
また、姉妹城長浜城との共同特別展「豊臣家ゆかりの天女の島」開催に取り組みました。
- ・全国城郭管理者協議会への参加、および加盟城との協力連携
協議会発行の「城のしおり」販売(1,127 冊)、「熊本城災害復旧支援金」の募金活動及び熊本城内で販売されていた図録「よみがえる熊本城」の販売協力(113 冊販売、平成 28 年 6 月からの累計 628 冊)等
また、前年度より会長城として事務局運営を行っており、第 55 回役員会は大阪城で開催しました。
- ・第 67 回全国博物館大会・ICOM 京都大会への参加(令和元年 9 月 4 日～9 月 5 日)
「博物館の未来」「災害時の博物館」「博物館と地域発展」などのセッション参加や文化庁

との交流を通し今後の運営に必要な情報の収集を行いました。

- ・日本博物館協会・関西博物館連盟への参加、および加盟館との協力連携を行いました。
 - ・大阪歴史博物館との連携を行いました。〔天守閣・歴博セット券（約 339,000 枚販売）〕
 - ・他の博物館、大学、学校、学会その他国内外の関係機関との協力連携を行いました。
- 博物館協会キャンパスメンバーズへの参画（8 校 計 1,194 人入館）等

④ 他の企業との連携

（京阪ホールディングス株式会社との連携事業）

- ・京街道（東海道五十七次）魅力再発見 2019「ぶらりお城めぐり」
（平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月）

地域資源を生かした来訪・交流の促進や文化・観光の振興を目的として、大阪・京都・滋賀をつなぐ街道沿いの城郭や城址にスポットをあてた歴史講座と歴史ガイドウォークを、京阪ホールディングス株式会社とともに開催しました。

- ・西国三十三所草創 1300 年記念「京阪沿線ぶらり巡礼」（令和 2 年 3 月～）

主催の京阪ホールディングス株式会社に協力し、西国三十三所巡礼の信仰や京阪沿線にある札所寺院について紹介する企画等の提案を行った。なお、西国三十三所の札所寺院である竹生島宝厳寺に関する特別展「豊臣家ゆかりの“天女の島”ーびわ湖竹生島の歴史と宝物」の広報タイアップならびに学芸員の出講を予定していましたが、新型コロナウイルス（COVID-19）拡大防止の影響で中止となりました。

（大日本印刷株式会社との連携事業）

- ・豊臣秀吉を偲ぶ踊りとゆかりの刀剣ー解説付きで間近に鑑賞ー（令和元年 8 月 10 日）

大日本印刷株式会社が行っている、高精細デジタル技術を用いた文化財複製（事業名称：伝匠美）で復元した屏風などを鑑賞するイベントに「豊国踊り」の関連行事として協力しました。

6. 情報発信、広報宣伝

国外の観光客が増加する中、大阪を代表する文化・観光施設にふさわしい特別展、テーマ展及びイベント等を実施するとともに、ホームページ（訪問者数 108 万件/年・ページビュー数 336 万件/年）・ポスター・チラシ・リーフレット（日本語、韓国語、中国繁体字、中国簡体字、英語の各言語別及び子ども向け）・マスメディア等をとおして、幅広い効果的な情報発信・広報宣伝を行うことにより、集客力の向上に努めました。

取材受入れは 103 件、大阪市を通じての報道発表は 12 件、観光雑誌等の刊行物への天守閣情報の掲載（写真提供および記事校正）163 件実施しました。

7. 施設、設備の良好な維持管理

改札・案内・警備・清掃・昇降機の運転業務を業務委託により実施するとともに設備等の定

期的な保守点検を実施し安全で快適な施設の維持管理に努めました。

また、以下の改修や設備更新を実施しました。

- ・ 天守閣 空調用活性炭フィルター交換作業（令和元年 8 月）…修繕費
- ・ 天守閣 3 階フローリング床修繕工事（令和元年 8 月）…修繕費
- ・ 天守閣 空調室内機冷温水用配水ストレイナ清掃作業令和元年 8 月～10 月）…改修費
- ・ 天守閣 からくり太閤記 モニター故障交換工事（令和元年 5 月～12 月）…改修費
- ・ 天守閣 8F 展望室扉（北・南西）修繕工事（令和元年 9 月・11 月）…改修費
- ・ 天守閣 7F 防火扉等修繕工事（令和元年 9 月）…修繕費
- ・ 天守閣 手摺（中央階段・5F 避難階段）修繕費工事（令和元年 9 月・12 月）…修繕費
- ・ 天守閣 天守閣図録販売カウンター改修（令和 2 年 2 月）…改修費他
- ・ 天守閣 大阪城天守閣 内部サイン変更工事（令和 2 年 3 月）…改修費他
- ・ 天守閣 中央監視装置の更新（令和 2 年 2 月 10 日着工、5 月 31 日完成予定）…大阪市
〔台風 10 号被害修繕〕
- ・ 天守閣 銅版瓦 既存復旧・新調復旧工事（令和元年 9 月）…大阪市

8. 大阪城天守閣売店（ミュージアムショップ）の運営

毎月売店会議を開催し、効率の良い運営及び経費削減に努めるとともに、大阪城だけのオリジナル商品（お菓子、ペーパークラフト、ストラップ等）を、納入業者と共に開発し販売を行うほか、ホームページを活用し季節ごとの売れ筋商品を紹介する等広報活動を充実させ収入確保に努めた。また、新商品として「大阪城オリジナル消しゴム」を令和元年 11 月 30 日から発売し、約 3 か月で 1,356 個を販売しました。また、荻原一青氏「名城手拭百城」の復刻版「大阪城復刻手ぬぐい」を令和 2 年 2 月 13 日より販売しました。

また、令和元年 10 月 1 日の消費税改正に対応し、販売管理システム（POS レジ）を新税率 10% 及び軽減税率（8%）対応のプログラムに改修しました。

9. その他

（1）特別な取り組みや対応

①「外交の舞台・大阪城」キャンペーン

大阪城が、豊臣秀吉の時代から幕末、そして、現代においても平成 7 年（1995）に APEC 首脳会議、令和元年 6 月 28 日には G 2 0 大阪サミットの夕食会が西の丸庭園（大阪迎賓館）で開催されるなど、幾度も重要な外交の舞台になっていることに加え、「豊臣期大坂図屏風」が発見されたオーストリア・グラーツ市のエッゲンベルグ城と友好城郭提携を締結してから 10 周年の記念イヤーにあたることから、「外交の舞台・大阪城」キャンペーンを実施しました。四季のイベントや展示などの定例行事をテーマにちなんだ内容で行い、定例行事以外にも様々な事業を実施しました。

②「登閣符」の販売（平成 31 年 4 月 24 日～令和元年 5 月 7 日）

令和改元を記念し「平成最後の入館記念」と「令和最初の入館記念」の登閣符を販売しました。

(1枚300円 各5,000枚 ※「令和最初の入館記念」は、令和元年5月2日に限定数に達し早々に販売終了となる人気でした。)

③「大阪城ゆかりの地マップ」の発行(令和元年11月2日～)

過去に実施した歴史観光キャンペーン「真田幸村ゆかりの地」「幕末・維新150年」の際に作成した歴史散歩のガイドマップを再構成のうえサイズを小型化し、「大阪城ゆかりの地マップ1大坂の陣編」・「大阪城ゆかりの地マップ2幕末・維新編」の2種類を発行しました。通年で無料配布しました。

④「大阪城天守閣のお誕生日」を記念して登閣証明書を配布

令和元年11月7日にお越しの先着5,000人の方に登閣証明書を配布しました。

⑤「即位礼正殿の儀慶祝事業」に伴う大阪城天守閣無料公開の実施

(令和元年10月22日 入館者:8,239人)

即位礼正殿の儀が挙行されることに伴う慶祝事業の一環として、文化庁からの依頼を受けた大阪市と協議の結果、大阪城天守閣の無料公開を実施しました。館内の警備案内要員の増員、慶祝の掲示物や、スタッフの多言語案内など、混雑対策と安全確保、快適な施設の維持管理に配慮しながら実施しました。

⑥「熊本城災害復旧支援金」の募金活動を継続しており、当年度の集金実績は190,363円でした。(熊本市の当該口座への送金は、4/1～5/3の集金96,218円を5/10に、5/4～11/20の集金75,810円を11/25に実施、11/21～2/28の集金18,335円は4/30に実施。平成28年4月29日より令和2年3月31日までの累計集金は1,725,782円となり、本年度で終了しました。)

⑦ 令和元年10月12日の台風19号により大きな被害を受けた長野県上田市(友好城郭上田城による誼)に対し、「真田六文銭義援金」と銘打った募金活動を11月3日より開始し、当年度の集金実績は、42,829円でした。(上田市の当該口座への送金は、11/3～11/20の集金31,165円を11/25に実施。)来年度も引き続き募金活動を行い令和元年11月21日以降の本年度集金残11,664円と合わせて送金予定です。

⑧ 令和元年10月31日の火災により正殿をはじめ7棟が焼失した首里城復興の募金に関しては天守閣業務での活動は行わず、大阪城パークマネジメント㈱と職員の合資でお見舞金として沖縄県の当該口座へ10万円送金(3月31日)するに留めました。(PMO事業会計からは除外しています。)

⑨ 中央消防職員の立ち合い指導の下、自営消防訓練を2回実施しました。

- ・令和元年9月12日実施 中央消防職員による応急救護(三角巾使用)や、館内設置の消火器・消火栓の位置確認と、消火栓を使用した放水訓練を実施しました。
- ・令和2年3月18日 中央消防署職員によるVRを使用した避難訓練(煙のこわさ、性質を知る)および水消火器による消火訓練を参加者全員に個別実施しました。

⑩ G20大阪サミット2019開催にともなう協力

「G20 大阪サミット 2019」の開催と、6 月 28 日には夕食会のため大阪城西の丸庭園内にあ
る大阪迎賓館へ各国首脳が集まることから、天守閣付近の警戒強化を自主的に行い、外務省
からの協力依頼を受けた大阪市の要請により臨時休館を 2 日間行いました。

- ・開催期間に合わせた特別警戒対応

入館者の手荷物検査 4 ポスト 5 人体制（令和元年 6 月 24 日～6 月 26 日、6 月 29 日）

本丸巡回警備（1 ポスト）実施（令和元年 6 月 24 日～6 月 27 日、6 月 29 日）

- ・臨時休館の実施（夕食会の前日と当日） 令和元年 6 月 27 日・6 月 28 日

⑪ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応

1 月 8 日 職員への注意喚起（手洗い・うがいの励行、インフルエンザ・ノロウイルスに準じた防御策）

1 月 23 日 春節（1/24～1/30）前の感染防止特別対策を実施しました。

- ・職員へ手洗い・うがいの励行、マスク着用推奨と配備。

- ・館内 30 か所へ二酸化塩素系空間除去剤を設置、職場 24 か所に消毒液を配備

なお、1 月の来場者数は 175,519 人で前年比 15,000 人減（8%減）となりました。

2 月 大阪市の要請を受け、天守閣は 2 月 29 日から臨時休館することになりました。なお、
1 日～28 日までの入館者数は 104,090 人で前年比 91,000 人減（47%減）。

当初 3 月 15 日までの休館とし営業再開準備を行っていましたが、情勢は悪化を続け、
休館延長となり、その後も再三営業再開の機をうかがうものの、全て見送られ、本年
度は 3 月 31 日まで 32 日間休館のままで終了いたしました。

⑫ 台風（暴風警報）による臨時閉館

令和元年 8 月 15 日は 10 時に閉館、令和元年 10 月 19 日は終日閉館しました。

(2) 来館者サービスの向上

- ① 身体障がい者や高齢者等社会的弱者など、さまざまな人々がより安全に利用できるよう、
設備等の定期的な保守点検を実施し安全で快適な施設の維持管理に努めました。

- ② 1 階、5 階インフォメーションで貸し出している 4 ヶ国語（日本語・英語・中国語・韓国
語）対応の音声ガイダンスの申込書の見直しを行い受付カウンターの混雑の緩和を図りま
した。（民泊等の滞在先連絡先の無い人が増え、連絡のつく個人携帯電話番号への変更等）

- ③ リーフレット内の地図情報等の更新、文化財展示解説など 222 点の外国語表記や館内放送
の多言語化に取り組み、館内案内の充実を図りました。

- ④ 入館者の増加（混雑）対策及び観覧者マナーの改善策

館内の混雑や観覧マナーの乱れによる不快感への対策として、券売所や階段・エレベータ
への誘導員、館内巡視員、2 階試着体験コーナーの写真撮影スタッフの増員体制は継続し、
快適で安全な観覧環境の確保に努めました。

- ⑤ 職員を対象とした人権研修を実施しました。

令和 2 年 3 月、新型コロナウイルス（COVID-19）拡大防止措置として 3 密を避けて、集会
せず「フェイクニュースと人権」をテーマとした資料配布と読後レポート提出で実施しま

した。

- ⑥ 個人情報の開示・訂正・利用停止などの手続き専用ダイヤルの継続、および周知文書「お客様の個人情報のお取り扱いについて」の館内4箇所への設置を継続しました。(改札・インフォメーション・1F ミュージアムショップ・2F 東事務所)
- ⑦ 夏季の避暑対策として改札から天守閣内への階段通路にドライ型ミストを設置(令和元年7月5日～9月30日)、また、館内5Fには大型送風機を臨時設置しました。
- ⑧ iPad を利用したリアルタイム映像通訳サービス「みえる翻訳」(英語・中国語・韓国語・タイ語・ロシア語・日本語の手話通訳対応)を継続しました。
- ⑨ 落とし物、迷子等のご案内の際の多言語対応として、平成31年度より正式導入したタブレット端末を用いて多言語対応の定型文を使用した館内放送アプリを活用しました。
- ⑩ チームコミュニケーションツール「skack」の活用により公園内施設との情報の共有化を図り、利用者への案内や問い合わせ(拾得物や迷い子等)対応の充実を図りました。
- ⑪ 館内サインを全面改修しました。(令和2年3月、貼り替え・新設計466カ所)
対応言語の見直し、デザインの統一、ラミネートパウチ等による簡易サイン撤去を行い整備しました。

(3) 利用者満足度の把握・利用促進策

① 満足度調査の実施

大阪城天守閣入館者を対象に団体客・個人客の発地や大阪城の認知度、情報源、満足度などの来場者調査を実施しました。

② 苦情への対応等

各担当で受けた苦情や要望等をメールや連絡会議等を通じ常に情報共有し、改善に役立てました。

③ 施設利用促進への反映

大阪のシンボルである大阪城天守閣に、国内外から利用促進・誘致宣伝策として、次の事業を行いました。

- ・大阪城公園で開催されるイベントとの連携
- ・季節に応じた自主事業によるイベント開催
- ・ネットを利用したチケット販売を令和元年10月28日より開始〔入館数3,114人〕
- ・大阪市高速電気軌道(株)(Osaka Metro)、西日本旅客鉄道(株)、京阪電気鉄道(株)、大阪水上バス等交通機関との連携による入場割引、企画チケットの取扱い実施
- ・櫓とのセット券販売(櫓観覧者総数約105,000人のうち天守閣セット券観覧が32,000人)
- ・大阪城公園内施設とのセット入場券の販売(令和元年8月限定販売)
〔天守閣・西の丸庭園セット入館数は、528人〕
〔天守閣・幻影博物館セット入館数は、386人〕
- ・旅行会社等との観光券やクーポンの取り扱い契約やオプションサービス企画への参画による

集客促進

- ・大阪城天守閣開催事業のプレスリリースや大阪市・区ほか関係団体の情報発信媒体、観光雑誌等への情報提供、交通機関等と連携した広報・宣伝
- ・ホームページの随時更新によるイベント・展示等の情報発信
- ・諸団体実施の内外へのプロモーションへの参加や提携
- ・大阪周遊パス、西日本旅客鉄道㈱が企画する「JR-WEST RAIL PASS」、京阪電気鉄道㈱が企画する「KYOTO-OSAKA SIGHTSEEING PASS」への参画等によるインバウンド誘致
〔大阪周遊パスの入館者 486,361 人（前年比 27.5%減）〕

(4) 自主事業

天守閣やその周辺に来られた方々が、大阪城や大阪の歴史・文化を身近に感じていただけるようなイベントを季節ごとに開催し、大阪城の魅力を高めるとともに集客に努めました。

① 季節ごとの集客イベント

a. 「日本～悠久の歴史 大阪城ファミリーフェスティバル 2019」

（令和元年 5 月 1 日～5 月 3 日） 参加者：約 5,700 人（3 日間合計）

火縄銃演武〔大阪城鉄砲隊〕 国指定重要無形民俗文化財 伊勢大神楽〔伊勢大神楽講社 山本勘太夫社中〕 雅楽演奏〔天地雅楽〕 国指定重要無形民俗文化財 備中神楽〔岡山県神社庁神楽部所属 備中成羽社〕 京田辺市指定無形民俗文化財 大住隼人舞〔大住隼人舞保存会〕 霧島市指定無形文化財 天孫降臨霧島九面太鼓〔天孫降臨霧島九面太鼓保存会〕 ゆかりの地の魅力展（鹿児島県、宮崎県、京都府京田辺市、郵便局、JO-TERRACE OSAKA ショップ）

b. 「豊国踊りに真田幸村参上」

（令和元年 8 月 10 日） 参加者：約 900 人

豊国踊り実演〔宝塚歌劇 OG・OSK 日本歌劇 OG、協力：大阪市日本民踊研究会〕
「真田幸村を歌う」〔桜花昇ぼる〕

c. 「大阪城・エッゲンベルグ城友好城郭提携 10 周年記念フォーラム グラーツ・エッゲンベルグ城の魅力と「豊臣期大坂図屏風」

（令和元年 11 月 2 日、大阪歴史博物館で実施。参加者：224 人）

講演、鼎談〔ヴォルフガング・ムヒツェ（シュタイアーマルク州立博物館ヨアネウム館長）、ポウル・シュスター（エッゲンベルグ城主任学芸員）、北川央（大阪城天守閣館長）〕

d. 「大阪城・エッゲンベルグ城友好城郭提携 10 周年記念 外交の舞台・大阪城～大阪城の秋まつり 2019～」

（令和元年 11 月 3 日～11 月 4 日 参加者：2 日間合計 約 3,200 人）

古箏演奏〔伍芳〕 Classical Music×Pops ミニコンサート「RESONATE」〔桜花昇ぼる、沙月梨乃、松岳一輝バンド〕 三重県指定無形民俗文化財 唐人踊り〔分部町唐人踊

り保存会〕 オペラ歌唱『Mulier Fortis／勇敢な婦人（細川ガラシャ）』より〔豊田喜代美、高本一郎〕 ゆかりの地の魅力展（オーストリア、フランス、イタリア、イギリス、三重県津市、郵便局、大阪城）

e. 「令和最初のお正月～ちょろけんと大神楽～」

（令和2年1月2日～1月3日） 参加者：約1,600人（2日間合計）

ちょろけん登場〔東西屋〕、大神楽曲芸の披露〔豊来家一門〕 大阪城天守閣特製「御札」の頒布

② 令和2年度の広報施策テーマ「豊臣秀吉」に関連するイベント

a. 「駆け上がれ！秀吉～光秀の好敵手 若き秀吉ゆかりの地スタンプラリー～」

（令和2年2月6日～令和3年2月5日）

愛知・岐阜・滋賀・福井・兵庫・鳥取・岡山・京都にある、若き秀吉ゆかりの地に大阪城を加えた14カ所の地域を巡るスタンプラリー

スタンプ14個中10個押印でオリジナルピンバッジをプレゼント

次年度の広報施策テーマの開始に先駆けて、秀吉の誕生日（2月6日）に開始

③ 観光PR出展

a. 「上田城千本桜まつり」【長野県上田市】

（平成31年4月13日～4月14日）

「真田幸村ゆかりの地」として出展、広報物配布と物販によるPRを実施。

配布物：大阪城天守閣リーフレット、大阪城公園総合ガイド、テーマ展チラシ、大阪ファミリーフェスティバルチラシ、櫓公開チラシ（750組）

物販：大阪おこし、大阪城しおり、図録など（売上65千円/税込）

b. 「再建60周年記念 第61回北九州小倉城（しろ）まつり」【福岡県北九州市】

（令和元年10月19日～10月20日）

全国城郭管理者協議会加盟城、また大坂夏の陣に小倉城ゆかりの小笠原氏が徳川方として参戦している縁で出展、広報物配布と物販によるPRを実施。

配布物：大阪城天守閣リーフレット、大阪城公園総合ガイド、特別展チラシ、大阪城の秋まつりチラシ、櫓公開チラシ、メモ帳（750組）

物販：大阪おこし、大阪城手ぬぐい、図録など（売上75千円/税込）

c. 「お城 EXP02019」【神奈川県横浜市】

（令和元年12月20日～12月22日）

城郭文化の振興・発展や城郭ファンとの交流を目的としたイベント。今後オープンする豊臣石垣公開施設を中心に大阪城の魅力をPR。広報物配布と物販、豊臣石垣募金を実施。

配布物：大阪城天守閣リーフレット、大阪城公園総合ガイド、大阪城ゆかりの地マップ1・2、迎春イベント／スタンプラリーチラシ、櫓公開チラシ、なにわの夢募金チラシ、石垣解説チラシ（3,000組）

物販：大阪城四季の手ぬぐい、大阪城消しゴム（売上 36 千円/税込）

募金：95 千円

④ 兜・陣羽織・小袖の試着体験記念の写真撮影において改元イベントを実施

5 月 1 日改元にともない 4 月 30 日より 3 日間は「平成最後」の額、5 月 1 日より 1 か月間は「令和」の額をお客様に持っていただき写真撮影を行いました。天守閣登城記念のみならず改元の記念となると好評を博しました。

また、破損しがちな馬藺後立付兜（豊臣秀吉兜）の馬藺部分を見直し、土台を木製からステンレス製へ、馬藺の差し込み部分をより長く、安定するよう改良しました。

大阪城天守閣入場者年報（平成31年度）

グループ	項目	員数(人)
一般入場券	一般(券売機)@600	1,104,175
	一般(窓口)@600	1,702
	一般団体(15～)@540	68,705
	一般団体(100～)@510	737
	一般団体(200～)@480	200
	高校生団体(15～)@480	4,578
	高校生団体(100～)@450	2,654
	小計	1,182,751
クーポン	一般クーポン@600	5,484
	団体クーポン(15～)@540	31,984
	団体クーポン(100～)@510	2,484
	団体クーポン(200～)@480	5,448
	高校生クーポン(15～)@480	7,091
	高校生クーポン(100～)@450	14,113
	ホテルクーポン@500	1,217
	サンライズツアー@540	1,964
	KNT ぶらり散歩	368
	ANAスカイリデー わくわくチケット	396
	赤い風船(日本旅行)	221
	エースJTB	299
	ネットを利用し販売したチケット	3,114
	小計	74,183
割引入場券	540 大阪メトロ 割引 / 大阪市高速電気軌道株	50,491
	540 スルッとKANSAI 2Day・3Day	8,200
	540 JR WESTPass / 西日本旅客鉄道株	3,511
	540 京阪割引 / 京阪電鉄	551
	540 大阪検定 / 大阪商工会議所	15
	540 大阪歴史ウォーク / 大阪放送株 (R01.9/14)	5
	540 大阪マラソン (R01.11/30_Happy Morning Run)	21
	510 長浜城連携割引 / 長浜市長浜城歴史博物館 (R02.3.20～R02.5.10)	0
	小計	62,794
セット券	水上バス(窓口販売)	1,716
	水上バス(バス販売)	4,999
	歴博セット券(天守閣販売)	12,054
	歴博セット券(歴博販売 等)	20,114
	櫓セット券(天守閣販売)	7,901
	櫓セット券(櫓販売 等)	21,789
	西の丸セット券(天守閣販売)	273
	西の丸セット券(西の丸販売 等)	255
	イリュージョンセット券(天守閣販売)	243
	JAL/パック■ふらり限定[大人]	30
	イリュージョンセット券(MIRAIZA販売 等)	143
	小計	69,517
バス入場券	周遊バス(一日券)	211,380
	周遊バス(二日券)	274,981
	キャンパスメンバーズ	1,194
	小計	487,555
小人無料入場	無料小人 [子ども義士45人を含む]	196,684
	無料学校団体	68,215
	小計	264,899
一般無料入場	身障者・介護者	20,012
	敬老カード	5,533
	優待等	4,947
	下見	956
	なにわの募金	12
	2019.10.22 『天皇陛下即位礼正殿の儀慶祝事業』に伴う無料公開	8,649
	2019.12.08 大阪義士会『大阪義士会子ども四十七士』表敬訪問	42
	小計	40,151
有 料 合 計		1,876,800
無 料 合 計		305,050
総 合 計		2,181,850

■2020.02.29～当面の間 臨時休館[コロナウィルス感染症拡大防止]

大阪城天守閣 月別入場者数(前年対比)

年度	当事業年度 平成31年度(2019)			前事業年度 平成30年度(2018)			前事業年度比(増減数及び増減率)			
区分	有料人数	無料人数	合計	有料 人数	無料 人数	合計	有料凶数	無料凶数	合計	率
4月	222,366	35,697	258,063	236,617	32,008	268,625	-14,251	3,689	-10,562	-3.9%
5月	202,001	44,485	246,486	206,303	43,850	250,153	-4,302	635	-3,667	-1.5%
6月	175,844	22,441	198,285	169,116	21,607	190,723	6,728	834	7,562	4.0%
7月	194,422	29,876	224,298	175,722	24,668	200,390	18,700	5,208	23,908	11.9%
8月	186,651	39,129	225,780	204,616	39,845	244,461	-17,965	-716	-18,681	-7.6%
9月	158,457	16,703	175,160	127,850	16,228	144,078	30,607	475	31,082	21.6%
10月	172,674	38,360	211,034	198,856	35,518	234,374	-26,182	2,842	-23,340	-10.0%
11月	185,969	28,192	214,161	192,373	29,838	222,211	-6,404	-1,646	-8,050	-3.6%
12月	131,572	17,402	148,974	149,949	20,282	170,231	-18,377	-2,880	-21,257	-12.5%
1月	153,031	22,488	175,519	167,875	22,790	190,665	-14,844	-302	-15,146	-7.9%
2月	93,813	10,277	104,090	167,487	28,107	195,594	-73,674	-17,830	-91,504	-46.8%
3月	2/29 ~ 臨時休館			206,945	31,608	238,553	-206,945	-31,608	-238,553	-100.0%
合計	1,876,800	305,050	2,181,850	2,203,709	346,349	2,550,058	-326,909	-41,299	-368,208	-14.4%

大阪城天守閣 月別入場者数歴年表(平成26～31年度)

年度	平成26年度(2014)			平成27年度(2015)			平成28年度(2016)			平成29年度(2017)			平成30年度(2018)			平成31年度(2019)		
区分	有料人数	無料人数	合計	有料人数	無料人数	合計	有料人数	無料人数	合計	有料人数	無料人数	合計	有料人数	無料人数	合計	有料人数	無料人数	合計
4月	149,166	32,213	180,369	171,643	31,600	203,243	202,562	34,186	236,748	222,772	36,567	259,339	236,617	32,008	268,625	222,366	35,697	258,063
5月	115,838	46,273	161,111	163,380	47,152	210,532	176,124	43,628	219,752	200,406	43,362	243,767	206,303	43,850	250,153	202,001	44,485	246,486
6月	94,558	16,486	111,044	128,166	18,222	146,388	157,969	20,847	178,816	176,330	23,028	199,358	169,116	21,607	190,723	175,844	22,441	198,285
7月	106,717	18,783	125,500	150,832	23,862	174,694	184,547	27,204	211,751	201,071	27,218	228,289	175,722	24,668	200,390	194,422	29,876	224,298
8月	148,030	40,282	188,312	194,279	43,543	237,822	213,577	47,724	261,301	224,674	47,607	272,181	204,616	39,845	244,461	186,651	39,129	225,780
9月	120,130	16,472	136,602	153,680	21,738	175,418	187,891	17,927	185,818	174,168	18,767	192,935	127,850	16,228	144,078	158,457	16,703	175,160
10月	135,538	36,763	172,301	176,210	40,510	216,720	193,440	36,798	230,238	202,083	35,867	237,950	198,856	35,518	234,374	172,674	38,360	211,034
11月	136,284	41,669	177,953	161,887	27,613	189,500	183,321	30,259	213,580	206,234	31,739	237,973	192,373	29,838	222,211	185,969	28,192	214,161
12月	96,799	14,577	111,376	139,682	16,772	156,454	150,583	22,525	173,108	170,367	21,582	191,949	149,949	20,282	170,231	131,572	17,402	148,974
1月	108,641	19,808	128,449	167,818	23,485	191,303	177,713	26,874	204,587	189,087	24,888	213,975	167,875	22,790	190,665	153,031	22,488	175,519
2月	124,292	19,302	143,594	178,208	22,655	200,863	180,336	20,873	201,209	194,021	22,608	216,629	167,487	28,107	195,594	93,813	10,277	104,090
3月	168,999	32,744	201,743	199,228	35,648	234,876	205,731	34,755	240,486	221,913	38,137	260,050	206,945	31,608	238,553	-	-	-
合計	1,503,982	334,372	1,838,354	1,985,013	352,800	2,337,813	2,193,794	363,600	2,657,394	2,383,125	371,270	2,754,395	2,203,709	346,349	2,650,058	1,876,800	305,050	2,181,850

大阪城天守閣 年度別入館者数

年 度	入館者数	累 計	備 考	年 度	入館者数	累 計	備 考	年 度	入館者数	累 計	備 考
1 昭和6年度	802,892	802,892		31 昭和36年度	1,907,722	24,708,239		61 平成3年度	1,314,340	66,048,359	6500万人達成
2 昭和7年度	807,474	1,710,366		32 昭和37年度	1,908,220	26,616,459		62 平成4年度	1,341,014	67,389,373	
3 昭和8年度	800,843	2,511,209		33 昭和38年度	1,949,927	28,566,386		63 平成5年度	1,279,249	68,668,622	
4 昭和9年度	822,960	3,334,169		34 昭和39年度	1,953,681	30,520,067		64 平成6年度	1,048,465	69,717,087	
5 昭和10年度	752,312	4,086,481		35 昭和40年度	1,989,470	32,509,537		65 平成7年度	945,398	70,662,485	7000万人達成
6 昭和11年度	764,200	4,850,681		36 昭和41年度	1,634,472	34,144,009		66 平成8年度	41,026	70,703,511	一部休館
7 昭和12年度	711,669	5,562,350		37 昭和42年度	1,514,076	35,658,085		67 平成9年度	1,534,139	72,237,650	平成の大改修完成
8 昭和13年度	786,900	6,349,250		38 昭和43年度	1,360,108	37,018,193		68 平成10年度	1,075,259	73,312,909	
9 昭和14年度	935,426	7,284,676		39 昭和44年度	1,275,952	38,294,145		69 平成11年度	1,026,044	74,338,953	
10 昭和15年度	932,720	8,217,396		40 昭和45年度	1,667,770	39,961,915	大阪万博	70 平成12年度	994,094	75,333,047	7500万人達成
11 昭和16年度	652,388	8,869,784		41 昭和46年度	1,194,963	41,156,878	4000万人達成	71 平成13年度	1,173,580	76,506,627	天守閣復興70周年
12 昭和17年度	205,652	9,075,436	9/25～ 休館	42 昭和47年度	1,128,435	42,285,313		72 平成14年度	1,127,978	77,634,606	
13 昭和18年度		休館		43 昭和48年度	1,142,642	43,427,955		73 平成15年度	1,095,823	78,730,429	
14 昭和19年度		休館		44 昭和49年度	1,140,144	44,568,099		74 平成16年度	1,134,776	79,865,205	
15 昭和20年度		休館		45 昭和50年度	1,122,111	45,690,210	4500万人達成	75 平成17年度	1,062,792	80,927,997	8000万人達成
16 昭和21年度		休館		46 昭和51年度	1,074,562	46,764,772		76 平成18年度	1,251,577	82,179,574	
17 昭和22年度		休館		47 昭和52年度	1,068,502	47,833,274		77 平成19年度	1,380,595	83,560,169	
18 昭和23年度		休館		48 昭和53年度	1,073,336	48,906,610		78 平成20年度	1,299,156	84,859,325	
19 昭和24年度	176,871	9,252,307	～7/19 休館	49 昭和54年度	990,046	49,896,656	一部休館	79 平成21年度	1,247,661	86,106,986	
20 昭和25年度	375,060	9,627,367		50 昭和55年度	1,189,693	51,086,349	5000万人達成	80 平成22年度	1,368,058	87,475,044	
21 昭和26年度	629,158	10,256,525		51 昭和56年度	1,384,610	52,470,959		81 平成23年度	1,407,398	88,882,442	
22 昭和27年度	623,779	10,880,304		52 昭和57年度	1,267,012	53,737,971		82 平成24年度	1,512,081	90,394,523	9000万人達成
23 昭和28年度	1,005,841	11,885,945		53 昭和58年度	2,124,790	55,862,761	築城400年祭	83 平成25年度	1,555,338	91,949,861	
24 昭和29年度	1,250,230	13,136,175		54 昭和59年度	1,287,966	57,150,727		84 平成26年度	1,838,354	93,788,215	大阪冬の陣 400年
25 昭和30年度	1,463,122	14,599,297		55 昭和60年度	1,250,075	58,400,802		85 平成27年度	2,337,813	96,126,028	大阪夏の陣 400年
26 昭和31年度	1,479,167	16,078,464		56 昭和61年度	1,236,188	59,636,990		86 平成28年度	2,557,394	98,683,422	真田幸村ゆかりの地キャンペーン
27 昭和32年度	1,525,087	17,603,551		57 昭和62年度	1,214,263	60,851,253	6000万人達成	87 平成29年度	2,754,395	101,437,817	1億人達成、築城・復興150年
28 昭和33年度	1,650,806	19,254,357		58 昭和63年度	1,250,125	62,101,378		88 平成30年度	2,550,058	103,987,875	
29 昭和34年度	1,761,457	21,015,814		59 平成元年度	1,253,293	63,354,671		89 平成31年度	2,181,850	106,169,725	2/29～ 臨時休館
30 昭和35年度	1,784,703	22,800,517		60 平成2年度	1,379,348	64,734,019					

有効年度入場者数 102,574,280
年度平均入場者数 1,315,055

(有効年度数 78)

下記の休館期間を除く
昭和17年9月25日から24年7月19日まで休館
昭和55年1月16日から3月15日まで休館
平成8年4月1日から平成9年3月28日まで休館(「平成の大改修」平成7年12月6日から9年3月9日まで)
令和2年2月29日～当面の間 臨時休館(コロナウイルス感染症拡大防止対策)

5. 駐車場にかかる事業報告書

令和元年度も引き続き城南バス駐車場及び大阪城公園駅前普通車駐車場、森ノ宮普通車駐車場の運営を行ってまいりました。春や秋の行楽シーズンには一時的にバスや普通車の駐車場が満車になることがありましたが、大きな混乱はありませんでした。各駐車場とも前半の半年は順調に前年を上回る実績で推移しましたが、2月の新型コロナウイルス感染拡大の影響により特に観光バスの台数に影響が出ました。結果として2月城南バス駐車場利用台数は1,171台、3月は810台と事業開始以来最低の数字を2か月連続で記録いたしました。

令和元年度駐車場利用状況

(消費税別)

	森ノ宮普通車駐車場		大阪城公園駅前普通車駐車場		城南バス駐車場	
	台数	金額(千円)	台数	金額(千円)	台数	金額(千円)
4月	13,509	10,228	13,577	12,186	12,344	31,911
5月	9,817	7,938	11,129	10,819	11,294	28,191
6月	6,687	5,050	6,162	5,863	11,082	28,906
7月	8,385	6,865	8,731	9,177	11,090	27,004
8月	10,040	7,909	9,219	8,798	9,133	21,917
9月	8,076	6,271	8,903	13,233	8,272	20,384
10月	8,148	6,258	7,570	7,313	9,032	23,008
11月	9,881	7,636	9,125	8,357	9,842	25,682
12月	8,325	6,400	6,743	6,913	6,864	16,851
1月	7,688	5,613	7,105	6,202	6,573	15,718
2月	7,591	5,863	7,098	6,949	1,171	3,724
3月	8,258	5,145	5,741	3,915	810	738
合 計	106,405	81,182	101,103	99,731	97,507	244,038

課題等

バス駐車場について4月の桜の時期は満車のため周辺道路へ渋滞列が発生することがありましたが誘導員の配置を行い、大きな混乱はありませんでした。観光バスは順調な増加傾向にあったものの、新型コロナウイルスの影響により2月以降の利用は急激に減少しました。令和2年度についてもこの傾向は当面継続する恐れがあります。同じく増加傾向であった普通車も、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に自粛と桜開花時期とが重なり、3月は前年に比べて落ち込みが見られました。花見で来場する普通車の混雑緩和の為に、一時的に城南バス第2駐車場を臨時の普通車駐車場として活用しました。

6.大阪城音楽堂にかかる事業報告書

大阪城音楽堂は、広く開放された音楽イベント施設として、令和元年度も下記のようにご利用いただきました。ただ、野外という特性上、12月から3月までの利用に関しては、気温が低いため楽器を演奏することが難しいこともあり利用が少ないのは例年の通りです。また新型コロナウイルスの影響で3月の利用においては、キャンセルも発生しました。

	音楽堂利用回数 (準備・撤収含む)	音楽堂 利用コマ数	リハーサル室 利用回数(音楽 堂利用者含む)	リハーサル室 利用コマ数	音楽堂来場 者数
平成31年4月	9回	20コマ	14回	24コマ	15,600人
令和元年5月	13回	26コマ	12回	23コマ	10,264人
6月	8回	15コマ	14回	19コマ	3,250人
7月	11回	21コマ	11回	20コマ	10,580人
8月	16回	31コマ	19回	34コマ	15,804人
9月	13回	26コマ	15回	26コマ	19,150人
10月	10回	18コマ	11回	15コマ	3,952人
11月	10回	18コマ	14回	22コマ	4,893人
12月	2回	3コマ	7回	8コマ	100人
令和2年1月	0回	0コマ	2回	2コマ	0人
2月	2回	2コマ	6回	6コマ	250人
3月	0回	0コマ	3回	3コマ	0人
合計	94回	180コマ	128回	202コマ	83,843人

*利用コマ数は、日中1コマ、夜間1コマとし、同じ団体が終日利用した場合、2コマとして計算しています。

音楽堂の利用促進と設備の補修や新設

1) 火災受信機、感知器の更新

3月、音楽堂2階に設置された火災報知機の感知器が火の気もないのに誤作動を起こしました。感知器は、音楽堂のオープン当初に設置されたもので定期点検での動作確認はしておりました。原因を究明したところ「埃」によるものでした。耐用年数をはるかに超えているため、問題のあった感知器だけでなく、それ以外の感知器も新しいものに更新しました。

2) AEDの更新

2月、大阪市教育委員会から引き継いだAED本体の耐用年数が超えたため、AEDを更新しました。

3) 警備システムの一元化 (PMO 全体)

大阪城公園内の警備システムは、指定管理者制度発足時には一元化されていませんでした。集客施設が新しく増えたことで、公園全体の警備体制の一元化が求められてきました。そのため4月、警備システムの一元化からとり残されていた重要文化財の櫓と音楽堂も他の施設と統一しました。

4) 音楽堂芝生席周辺の枝落下防止のための高木剪定

音楽堂の芝生席には樹木が植えられていますが、台風や強風により枝折れの発生が増えていきます。特に高木の場合、高所の枝が折れ落下した場合、観客に当たる可能性もあり、非常に危険です。2月、予防のため折れやすい枝を事前に剪定しました。

5) デジタル無線機の更新

音楽堂スタッフがコンサートで音響効果や照明のタイミングを計る等演出に必要な不可欠なデジタル無線機が老朽化して使用に耐えないため、4月、機器を更新しました。

また、楽器演奏が難しく利用回数の少ない冬期の利用促進では、2月に和太鼓のイベントが実施出来ました。また、これまで課題だったネット環境改善につながる光回線の設置を実施する事が出来ました。ネット環境の改善で、ネット配信など利用者にとっても利用の幅が広がる事が期待されます。

今年度、公益社団法人全国公立文化施設協会に加入し、協会の活動にも参加しました。6月には、豊中市立文化芸術センターで行われた研究大会に参加し、「地域との連携」「大規模改修のマネジメント」等の分科会に参加しました。音楽堂運営への知見を広めると共に、全国の劇場、音楽堂との意見交換を行いました。

利用者への意見を聞くため「音楽堂の公演主催者へのアンケート」を実施しました。

また、7月には同じ野外音楽堂である東京都の日比谷音楽堂への視察も行いました。オリンピックに向けて東京都が行った大規模改修の実施内容を収集し、音楽堂の運営について意見交換を行いました。公共の野外音楽堂として社会における役割を考えるよい機会になりました。

7. 大阪城西の丸庭園、迎賓館、豊松庵にかかる事業報告書

大阪城西の丸庭園は大阪城公園の中でも歴史文化財を有する整備された有料庭園として、また市民の憩いの場として、今年度も数多くの市民の方にご利用いただきました。また西の丸庭園を訪れたことの無い方に来園していただく為、数多くの魅力向上事業を計画・実施し、令和元年度は下記のようにご来場いただきました。また、大阪迎賓館は、平成 28 年 5 月から予約専用のレストランとして事業を開始、認知度も高まり西の丸庭園の新たな魅力となりました。豊松庵の活用に関しては大阪迎賓館利用者にお茶会をご案内し、利用者の拡大につながりました。

課題と対応

観桜ナイター等イベント開催時以外の西の丸庭園来園者数増加のため、魅力づくりの必要性を感じており、まずは花畑井戸の整備に着手しました。大阪迎賓館については大広間をレストランとして運営しておりますが、利用者からご要望のある少人数会合に対応する為、黄金の茶室レブリカの展示を終了し、無料休憩所と並行しての部屋の活用に変更しました。また、宴席での茶会利用などで豊松庵についても活用は増えておりますが、平日を含めた利用促進のための施策についても引き続き検討してまいりたいと思います。

また、大阪城迎賓館においては令和元年 12 月 2 日のランチをご利用したお客様の中からカンピロバクター菌による食中毒が発生いたしました。これを受けて当事業体では再発防止のため、飲食にかかわる全テナントを対象に衛生検査を実施いたしました。今後も引き続き衛生検査の結果を踏まえた教育等を実施していく予定です。

月		西の丸庭園	豊松庵
平成 31 年	4 月	108,312 人	11 件
令和 元年	5 月	35,232 人	11 件
	6 月	14,829 人	10 件
	7 月	18,265 人	9 件
	8 月	21,812 人	12 件
	9 月	15,447 人	12 件
	10 月	27,888 人	12 件
	11 月	28,280 人	13 件
	12 月	7,135 人	9 件

令和 2 年	1 月	6,680 人	8 件
	2 月	4,144 人	13 件
	3 月	7,005 人	12 件
合計		295,029 人	132 件

令和元年度実施 西の丸庭園 集客事業

※PMO 主催事業

・観桜ナイトー2019	4 月 1 日～4 月 14 日	82,135 人	
・黄金の茶室	4 月 1 日～12 月 26 日	455 件	※4/15-7/31 休館
・謎解きゲーム	4 月 1 日～5 月 12 日	1,523 人	
・櫓特別(西の丸振替分)	4 月 1～3 月 31 日 (土日祝・春夏連日公開)	84,692 人	※12 月～2 月休館
・8 月限定天守閣・西の丸セット券販売	8/1～8/31	351 人	
・WONDER LUST	10 月 5 日	536 人	
・大阪城イルミネージュ	11 月 22 日～3 月 1 日	57,899 人	

※その他団体による事業

・ハウスファミリーウォーク	5 月 12 日	2,931 人	
---------------	----------	---------	--

※迎賓館利用者

見学・打合せ入園含む	4 月 1 日～3 月 31 日	23,291 人	
------------	------------------	----------	--

令和元年度大阪城西の丸庭園、豊松庵、迎賓館、収入

項目	区分		積算内訳		合計金額	
					税込	税抜
西の丸庭園 運営事業	入園料 収入	・一般(有料)	28,635 人	5,627,820 円	5,160,621 円	
		・一般(周遊パス)	31,803 人	5,454,311 円	5,021,346 円	
		・企画イベント(有料)	108,270 人	30,766,345 円	28,466,195 円	
		・企画イベント(周遊パス)	41,511 人	8,337,790 円	7,704,615 円	
		・迎賓館利用者収入	23,291 人	4,045,835 円	3,712,056 円	
	合計		233,510 人	54,232,101 円	50,064,833 円	
	観桜ナイター露店出店料			774,225 円	716,875 円	
	その他(入園料系催事売上・営業雑益)			361,780 円	334,982 円	
	西の丸運営事業 合計			55,368,106 円	51,116,690 円	
豊松庵	使用料(空調使用料含む)		132 件	4,309,200 円	3,953,674 円	
無料休憩所	黄金の茶室フォトサービス		455 件	217,290 円	199,178 円	
大阪迎賓館	使用料※施設整備協力金含む		433 件	21,892 人	68,430,010 円	62,786,830 円
合計					128,324,606 円	118,056,372 円

※無料入園者数 61,519 人

令和元年度大阪迎賓館売上げ実績

月		件数	人数	売上(税抜)
平成 31 年	4 月	39 件	2,073 人	86,010,069
令和元年	5 月	36 件	1,680 人	85,390,206
	6 月	29 件	1,617 人	77,221,651
	7 月	30 件	1,361 人	64,321,936
	8 月	32 件	1,346 人	66,324,569
	9 月	44 件	2,259 人	94,381,490
	10 月	45 件	2,639 人	87,084,320
	11 月	46 件	2,684 人	103,673,430
	12 月	37 件	1,960 人	67,770,669
令和 2 年	1 月	37 件	1,639 人	53,704,588
	2 月	32 件	1,713 人	85,458,057
	3 月	26 件	921 人	60,694,258
合計		433 件	21,892 人	932,035,243

8. 大阪城野球場にかかる事業報告書

大阪城野球場は、市民に親しまれた野球施設として、令和元年度も多くの利用をいただきました。

(別紙参照)

予約窓口業務

大阪市が運営する会員制の施設予約システム(オーパスシステム)上で利用予約と、料金の支払いが完結しますが、会員でなくても大阪市に在住、在勤、在学の方は利用可能であり、その人たち向けの窓口業務を行っています。令和元年度は、一般利用件数(948件)のうち、窓口直接受け付けは(351件)で、およそ37%となっています。

使用状況の確認と維持

平成30年7月に倒壊したフェンスの工事が完了し、平成31年4月6日より供用を再開しました。特に目立ったクレームなどはありませんでした。

令和2年1月に雨天による「グラウンド不良」による未使用状態が続きました。これは1月に例年より雨量が多かった上、1、2塁間に大きな水たまりが出来たため、キャンセル対応手続きを取ると共に土の搬入と整備を行いました。

課題等

利用促進については運動会などで利用したいとの要望を頂くことも有り、野球以外での利用等で来園者の要望に応じた活用ができるかについても引き続き検討したいと思います。

＜過去の利用状況との比較＞

	平成 30 年度			令和元年度		
	一般利用	整備・工事	小計	一般利用	整備・工事	小計
4月	75 件	9 件	84 件	66 件	48 件	114 件
5月	97 件	0 件	97 件	109 件	10 件	119 件
6月	91 件	4 件	95 件	145 件	0 件	145 件
7月	6 件	189 件	195 件	82 件	34 件	116 件
8月	0 件	217 件	217 件	103 件	0 件	103 件
9月	40 件	165 件	205 件	117 件	0 件	117 件
10月	0 件	186 件	186 件	67 件	0 件	67 件
11月	24 件	156 件	180 件	89 件	0 件	89 件
12月	0 件	186 件	186 件	54 件	0 件	54 件
1月	0 件	186 件	186 件	22 件	4 件	26 件
2月	0 件	168 件	168 件	47 件	0 件	47 件
3月	0 件	186 件	186 件	47 件	3 件	50 件
合計	333 件	1652 件	1985 件	948 件	99 件	1047 件

* オーパスシステムサーバのデータでは、同じグループの連続使用が判別できない為、利用数は利用コマ数となっています。

9. JO-TERRACE OSAKA にかかる事業報告書

大阪城公園駅前エリアの事業が整い、飲食店舗 17 店舗 物販店舗 3 店舗 ランナーサポート施設 1 店舗 レストラン・ブライダル施設 1 店舗 合計 22 店舗、全区画が開業しています。（令和 2 年 3 月末現在）また、JR 大阪城公園の駅より施設へ直結するペデストリアンデッキや、公園内の案内など来園者の問い合わせなどに多言語で対応することのできる総合インフォメーションも施設内に併設されています。集客状況も順調に推移していましたが 1 月頃より新型コロナウイルス感染症の影響を受け始め、ついに 3 月は昨年比を大きく下回る集客になりました。この感染症の収束の時期によっては、翌年度にもかなり影響を及ぼすことが見込まれる状況です。

令和元年度の店舗売上・施設利用者数は下記の通りです。

令和元年度 JO-TERRACE OSAKA 売上・利用状況

	売上（円 税込み）	利用者数（人）	備考
平成 31 年 4 月	252,679,823	117,781	
令和元年 5 月	264,390,829	97,456	大阪城下町開業
令和元年 6 月	232,314,860	89,246	かつ満・さち福や・HIRAKU 開業
令和元年 7 月	243,180,228	112,618	
令和元年 8 月	252,435,413	121,243	
令和元年 9 月	253,975,451	104,562	
令和元年 10 月	251,031,038	107,232	
令和元年 11 月	275,122,587	114,873	
令和元年 12 月	224,040,183	103,898	
令和 2 年 1 月	205,102,830	98,902	新型コロナウイルス感染症拡大始まる

令和２年２月	218,665,867	91,668	
令和２年３月	129,433,108	45,688	
令和元年度合計	2,802,372,217	1,205,167	

※利用者数は各店舗レシート客数になります。

JO-TERRACE OSAKA 運営状況

施設利用状況は、週末や休日・大阪城ホールイベント開催日・太陽の広場イベント開催日を中心に利用者が増加する傾向は昨年と変わりませんが、より集客における依存率が高い状況になっています。一年間の集客変動はほぼ確立されているので各店舗においても効率的な営業時間の設定や定休日の設定の要望もあり、我々も便益施設の機能が保てる範囲で柔軟に対応しています。現在の営業店舗は８割が飲食店であり今年度３店舗の入れ替えがあり、各店舗の売上高の状況も前年度と変化してきています。また来年度より契約期間の満了時期が来る店舗もあるので、契約更新や店舗入替作業に対応して参ります。

課題等

- ① イベント時等施設混雑時にトイレ待ちの長蛇の列が、施設共用部トイレ・施設に隣接する公衆トイレ両方で発生し、共用部トイレ付近の店舗への影響や公衆トイレ付近のロードレインの運行のリスクになりかねない状況があります。
- ② 喫煙スペース利用は本年度かなり浸透してきましたが、更なる認知度を深める必要があります。
- ③ ごみ箱設置について、現店舗のうち半数以上がテイクアウト商品を販売しています。実施店舗にはごみ箱の設置をお願いしていますが、十分にまかなえている状況ではありません。公園施設として設置の有無を引き続き検討して参ります。
- ④ 季節ごとの集客波動が店舗運営において負担になっている店舗があり、特に夏季における太陽の広場での長期イベントの実施や冬季においては西の丸庭園で開催するイルミネーションとサクヤルミナとの連携施策などを充実させて集客を拡大させる必要があります。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化や終息後の集客状況によっては、店舗の撤退も複数起こりうる状況が考えられます。

令和元年度 JO-TERRACE OSAKA 収入

関係店舗	項目	金額（円）
JO-TERRACE OSAKA（A～F テラス）18 店舗	使用料等	193,350,313
JO-TERRACE OSAKA（G テラス）1 店舗	使用料等	76,506,216
直営オフィシャルショップ	売上原価益	22,340,315
収入合計		292,196,844

10. MIRAIZA OSAKA-JO にかかる事業報告書

旧第四師団司令部庁舎をリノベーションし、平成 29 年 10 月に新たな複合施設として誕生した「MIRAIZA OSAKA-JO」。1 階にカフェとお土産物ショップ、2 階 3 階にレストラン、屋上には、眺望の美しい屋上テラス・レストランを開設しています。

また、玄関口に観光情報を発信するインフォメーションを設置し、1 階南端には大阪城公園の歴史を解説した展示エリアを設けて、本丸エリアを訪れる人々へ情報を提供しています。

令和元年度は、6 月頃より日韓の政治的な対立により韓国からの観光客が大きく減り、売上に影響を受けました。1 月頃からは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けはじめ、中国からの観光客が激減。2 月末には天守閣が臨時閉館し、3 月頃からはインバウンド全体の来日が激減しました。2、3 月は昨年を大きく下回り、年度を通じてほとんどの店舗が昨年比で売上がマイナスになりました。

運営状況

① レストラン&カフェ

1 階には、喫茶・軽食を提供するカフェと、たこ焼きをメインにした飲食店を配置しています。季節に合わせたメニューを打ち出し、気軽にご利用いただける憩いの場を提供しています。

2、3 階には、近代建築を生かしモダンな内装の中で、ランチやディナーをお楽しみいただくことができるレストランを配置しています。毎月、旬の食材を活かしたメニューを提供し、来園者の昼食から、宴会や結婚式、各種パーティなどにもご使用いただき、ご好評を得ています。

屋上には、天守閣を臨むテラス・レストランを設置し、3 月から 10 月は、季節限定でバーベキューのできるテラス・レストランとして、日本随一のキャッスルビューを楽しみながら食事ができ、多くの方々にご利用いただくことが出来ました。冬季は展望カフェとして営業。新たな試みとして、店舗スタッフが和楽器や踊りを訓練し、観光客への“和のおもてなし”パフォーマンスを披露し、好評を得ました。

新型コロナウイルス感染症の影響以降は、全店舗が大きな影響を受け、経営的に厳しい状況に陥っています。

② お土産物販売

本丸エリア西側にあった売店「大阪城・本陣」を平成 29 年に本施設の 1 階に移設し、「本陣」「忍屋」という 2 店舗で営業しています。大阪城ならではのグッズから、大阪らしいお土産物、日本の心を伝える和雑貨、世界的な人気を集めるクールジャパン・キャラクター雑貨、伝統和菓子や工芸品など幅広く取りそろえ、海外からの観光客にも楽しんでいただきました。

また、1 F 展示室に掲示している大阪城公園の名所の絵葉書や天守閣作成のガイドマップなども販売し、ご好評をいただいています。

一方、本丸広場から本施設正面玄関に向かうエリアには、ベンチやパラソル、テラス席を配置していることもあり、天守閣など本丸エリアを訪れた人々が憩う場所になっています。ここでは、MIRAIZA OSAKA-JO のショップによる露店販売を実施し、賑わいを創出しています。

③ インフォメーション

1 F ロビーの観光インフォメーションでは、大阪城公園の情報をはじめとし、大阪観光のお手伝いもできるよう幅広い情報を提供しています。天守閣のインフォメーションや JO-TERRACE OSAKA、パークセンターとも連携し、公園内の回遊性の向上を図っています。引き続き、旅行者にとっての「旅のコンシェルジュ」となることを目指します。

④ 歴史情報等の発信

1 F 南端に設置した展示室「特別史跡・大坂城跡」は、大阪城公園の歴史と公園各所の見どころを解説・展示したエリアで、オープン以来、多くの来場者の方にご覧いただいています。また、展示室と連動して、インフォメーションで公園各所の見どころや、園内を回遊する推薦コースなどを掲載したガイドマップをご用意し、必要な方に無料でお配りしています。

⑤ 体験施設

地下1階の北側と南側に、2つの体験施設を運営いたしました。

1つは「侍・忍者体験」。「日本殺陣道協会」による「殺陣」の体験施設。着物の着付けから始まり、刀の持ち方、振り方の指導を経て、最後にはチャンバラを体験しています。侍や忍者の姿で記念写真も撮影できるという、まさに日本文化を丸ごと体験できる施設で、さまざまな国からの観光客にお楽しみいただきました。

もう1つは、古今東西のマジック、トリック、イリュージョンを一堂に集めた「イリュージョン・ミュージアム」です。人気マジシャンのメイガス氏の監修のもと、言語に左右されず「見ただけで楽しい」イリュージョンの数々について、天守閣の貯蔵品も一部使用した展示を行い、マジックの歴史を紹介しています。実際にマジックを体験するコーナーを設け、好評を博しています。目玉として、イリュージョンショーを開催。目の前で繰り広げられるライブは、年齢・性別や出身国を問わずどなたでも大いに楽しめ、大好評を博しています。

今年度から、主に近隣の小学生を対象に、プロのマジシャンが直接教える「マジック教室」を隔月で開催。公園近隣の方々に来園いただく機会を増やし、子どもたちにはマジックを通じてコミュニケーションを高めていただこうと、工夫を重ねています。

この2施設については、昨年度より売上を伸ばしました。(2月下旬以降は、天守閣に準じて臨時休業しました。)

COVID19（新型コロナウイルス感染拡大）の影響

新型ウイルス感染拡大の影響により全店舗・施設が大きな影響を受け、経営的に厳しい状況に陥っています。特に外国人観光客を重点的にターゲットとする土産物店、たこ焼き店、地下施設は、夏からの韓国人観光客激減、そして1月以降の中国人観光客ほかインバウンドの激減には、対処する方策が無い状況です。

また、感染拡大を押さえるため、日本人の生活・活動自体も自粛が要請され、結婚式、宴会・会合も自粛が相次ぎ、営業活動が成り立たなくなっています。

令和元年度 ミライザ大阪城 各店舗売上 および PMO収入

消費税別（単位：千円）

月	物販 (本陣・忍屋)	軽食 (ｸﾘｰﾌﾞ・利休)	レスト ラン (T L O)	ウエディング バンケット	地下施 設 殺陣・ IM
4	75,627	18,851	48,977	157,221	8,749
5	57,730	13,512	38,771	97,827	7,054
6	50,670	10,497	24,963	65,521	5,467
7	62,014	14,333	33,697	49,043	7,111
8	61,439	15,733	36,763	66,346	8,881
9	41,728	10,603	28,917	130,704	4,932
10	51,790	10,951	30,125	132,587	4,429
11	49,398	10,943	19,252	150,291	4,617
12	53,257	10,067	19,973	79,972	5,765
1	50,956	10,784	13,505	47,627	5,458

2	23,258	6,826	13,109	55,488	2,755
3	11,205	3,112	9,192	55,056	0
合計	637,757	136,212	317,241	1,110,319	65,217

関係店舗	項目	PMO 収入（千円）
MIRAIZA OSAKA-JO 5 店舗	使用料・共益費	257,617
直営地下 2 施設	売上	72,074
収入合計		329,745

課題等

令和 2 年 4 月現在、新型コロナウイルスの感染拡大は収まる気配がなく、世界的に見ると今後ますます拡大することが予見され、店舗・施設の営業についてはまったく展望がもてない状況です。直営である地下施設については、営業形態・継続をふくめ、改めて検討する必要があると考えます。現時点では、国内での終息後を見据え、公園全体で一丸となって、国内での来客誘導を準備しておく必要があると考えています。さらに、国内外の観光客の誘致に向け、旅行サイトなどを利用したプロモーションや、旅行代理店に対して新たに団体客用の食事メニューを開発して誘致する等、対外発信を行っていきます。

また、重厚な外観から売店やレストランであることが分かり辛く、来園者より有料施設かとの問い合わせもあるため、便益施設として気軽に利用していただけるようエントランスエリアに 12 月に花壇を設置しました。また、賑わいづくりとして設置していた露店については景観上の課題もあったため一旦撤去しましたが、今後より多くの集客を図るために総合的なエントランス部分の賑わい向上策を検討していく必要があります。

11. 森ノ宮噴水エリアにかかる事業報告書

森ノ宮噴水エリアは市民の憩いの場としてだけでなく、JR 森ノ宮駅、大阪メトロ森ノ宮駅より来園される観光客のエントランスエリアとして多くの来園者でにぎわいました。また中央区のボランティアにより整備していただいているエントランスの花壇と旧水景施設を改修して整備した花壇から見える天守閣をバックに多くの方が記念写真を撮る姿も見られました。魅力向上事業により整備したローソン、アールベイカー、スターバックスやボーネルンドプレイヴィルの運営も2月以降の新型コロナウイルスによる影響が出るまでは好調に推移いたしました。ボタニカルショーケース(ガーデン)を中心とした芝生のエリアは休日にはシートを敷いて来園者がくつろいだり犬の散歩にきた来園者が談笑する姿も多く見られました。また、ロードトレインの出発駅ともなっている案内所も特に夏の暑い日などは多くの方にご利用をいただき、パンフレットなどを配置して園内の案内強化に努めました。

		内訳（税別）	備考
収入合計（A）		32,952 千円	ローソン除く
項目	委託運営収入	32,952 千円	
支出合計（B）		5,986 千円	
項目	販売促進費	4 千円	
	管理委託費等	1,309 千円	
	保守維持費	40 千円	
	備品・消耗品費	82 千円	
	減価償却費	2,756 千円	
	共通経費	1,795 千円	
収支（A）－（B）		26,966 千円	

課題等

賑わいが増す一方で、犬の散歩に来られる方がリードをしていないなどの苦情や SNS を通じたイベントがゲリラ的に開催され集合場所になり、ロードトレインの通行に支障をきたすことなどもありました。イベント的な集会については注意喚起を続けることで一定減少いたしました。また、週末を中心に来園者の自転車の停め置きが増加しており、臨時駐輪場への誘導を強化するようにします。

12. COOL JAPAN PARK OSAKA にかかる事業報告書

平成 31 年 2 月の柿落し公演から、初年度を迎えました。WWホール、TTホール、SSホールはそれぞれの特徴を活かしたコンテンツが公演されました。今年度は、WWホール 142,390 人、TTホール 95,010 人、SSホール 40,340 人と合計 277,740 人を動員しました。

	WW ホール	TT ホール	SS ホール	総入場者数
平成 31 年 4 月	14,400	8,840	4,420	27,660
令和元年 5 月	14,850	9,100	4,200	28,150
6 月	8,000	5,400	3,190	16,590
7 月	12,600	11,750	7,280	31,630
8 月	14,000	8,240	3,680	25,920
9 月	0	10,780	4,680	15,460
10 月	10,100	10,900	7,040	28,040
11 月	14,940	15,530	950	31,420
12 月	11,700	4,560	2,200	18,460
令和 2 年 1 月	18,400	1,300	1,380	21,080
2 月	22,600	8,610	1,100	32,310
3 月	800	0	220	1,020
合 計	142,390	95,010	40,340	277,740

(単位 人)

WW ホール (客席 1144 席)

オリジナルレビュー「KEREN」が 2 月 25 日から 8 月 25 日まで半年にわたるロングランで 8 万人を超える動員となりました。秋には、大阪府・大阪市が中心となり上方伝統芸能、上方演芸をはじめ、音楽、演劇など多彩で豊かな大阪の文化魅力を広く国内外に発信する「大阪文化芸術フェス」の拠点として演劇やライブなど多彩な演目が行われました。11 月には、倅田來未のライブが行われ、本格的な音楽ライブの実績も作りました。正月にはお笑いライブも行われ、地元住民から観光客まで広く集客しました。

TT ホール (客席 706 席)

春には、宝塚歌劇、OSK の OG によるレビュー、アニメを原作とした 2.5 次元の作品が上演されました。夏休みには、世界 9 か国で国際演劇賞を受賞したスラバのスノーショーを上演し、秋には、大阪文化芸術フェスの公演やニューヨークのアポロシアターとの連携なども初めて行われました。

SS ホール（着席 200～300 席 スタンディング 400～500 人）

SS ホールでは落語、コント、全く新しいテクノロジーを使った「NO BORDER」や、現代アートギャラリーなど新しい試みにも取り組みました。

クールジャパンパーク大阪への新たな来場者が、公園施設の利用促進にもつながる一方で、開放しているロビーや中庭でランナーやウォーキングで訪れた公園利用者が寛ぐ姿も見られ相乗効果が生まれています。

課題等

公演を目的として来場する観客については一定の動員があったものの、観光に来た来園者が本施設を活用し周遊性を高めるところには至っておらず、今後は他施設との連携をさらに図っていく必要があると考えています。今のところ、集客も国内客が中心でインバウンド集客に関しても促進していく必要があります。

13. 園内交通システムの運行にかかる事業報告書

園内交通システムは昨年度に引き続き、来園者の利便性と周遊性向上のためロードトレインとエレクトリックカーでの運行を行いました。前半の半年は順調にご利用者数が増加しましたが、日韓摩擦による韓国人来園者の減少や新型コロナウイルスの影響による外国人訪日客全般の減少、さらに自粛による日本人来園者の減少などを主要因として、後半の半年は大きく売上を落とし、昨年度と比較して売上ベースでは約 10%減、乗客数ベースでは約 15%減となりました。

園内交通システム 令和元年度実績												消費税別(単位円)	
	4月		5月		6月		7月		8月		9月		
	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	
森ノ宮駅	5,850,370	19,292	6,303,889	19,886	5,910,278	17,881	6,759,722	20,848	6,188,056	18,934	4,021,667	12,320	
大阪城公園駅	1,232,407	4,543	1,426,111	4,987	1,649,074	5,587	1,713,241	5,852	2,255,741	7,562	1,822,315	5,946	
極楽橋駅	2,524,815	10,601	2,684,167	10,825	2,500,370	9,945	3,028,519	12,020	2,616,667	10,481	1,853,056	7,387	
豊國神社前駅	966,481	4,284	805,000	3,382	536,204	2,214	723,426	3,002	935,370	3,811	671,574	2,778	
小計	10,574,074	38,720	11,219,167	39,080	10,595,926	35,627	12,224,907	41,722	11,995,833	40,788	8,368,611	28,431	
エレック1号	623,148	3,927	1,055,463	6,469	890,926	5,307	1,216,759	7,210	1,158,519	6,872	1,067,778	6,305	
エレック2号	793,611	5,169	1,061,019	6,359	1,112,500	6,539	1,157,685	6,798	1,304,444	7,742	663,796	3,975	
エレック3号	856,204	5,087	872,500	5,181	917,315	5,347	502,037	2,996	165,463	993	960,278	5,594	
エレック4号	1,110,648	6,853	909,167	5,324	759,815	4,502	1,202,593	7,188	925,370	5,550	0	0	
エレック5号	1,008,704	6,274	904,167	5,101	519,537	2,800	631,667	3,452	824,074	4,564	911,759	5,091	
エレック6号	197,037	1,357	25,463	147	247,500	1,458	468,519	2,784	536,852	3,117	358,796	2,100	
Jクラシック1号	0	0	0	0	0	0	0	0	46,296	294	0	0	
Jクラシック2号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	4,589,352	28,667	4,827,778	28,581	4,447,593	25,953	5,179,259	30,428	4,961,019	29,132	3,962,407	23,065	
合計	15,163,426	67,387	16,046,944	67,661	15,043,519	61,580	17,404,167	72,150	16,956,852	69,920	12,331,019	51,496	
	10月		11月		12月		1月		2月		3月		
	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	
森ノ宮駅	4,288,545	13,799	3,249,455	11,191	3,287,727	10,441	4,759,182	14,831	2,622,727	8,480	1,114,273	3,993	
JO-TERRACE	1,767,545	6,039	1,327,545	5,003	1,209,909	4,070	1,423,818	4,764	1,163,727	4,071	524,909	1,891	
極楽橋駅	2,048,091	8,486	1,485,091	6,456	1,228,182	4,994	1,727,727	7,025	948,364	4,066	412,364	1,834	
豊國神社前駅	690,818	2,981	728,818	3,259	463,182	1,991	173,273	741	153,636	701	60,818	328	
小計	8,795,000	31,305	6,790,909	25,909	6,189,000	21,496	8,084,000	27,361	4,888,455	17,318	2,112,364	8,046	
エレック1号	1,205,727	7,279	820,182	5,128	138,727	848	0	0	0	0	0	0	
エレック2号	665,545	4,052	347,727	2,211	520,909	3,219	567,727	3,450	519,545	3,085	146,364	929	
エレック3号	527,545	3,239	1,057,273	6,410	887,909	5,264	827,091	5,058	511,727	3,063	105,636	670	
エレック4号	679,000	4,171	813,727	5,071	907,000	5,582	755,455	4,602	431,909	2,633	0	0	
エレック5号	799,636	4,684	649,182	4,099	634,818	3,673	474,364	2,678	87,909	455	130,545	860	
エレック6号	0	0	21,545	139	12,636	79	0	0	0	0	5,909	42	
Jクラシック1号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
Jクラシック2号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	3,877,455	23,425	3,709,636	23,058	3,102,000	18,665	2,624,636	15,788	1,551,091	9,236	388,455	2,501	
合計	12,672,455	54,730	10,500,545	48,967	9,291,000	40,161	10,708,636	43,149	6,439,545	26,554	2,500,818	10,547	
	合計												
	金額	人数											
森ノ宮駅	54,355,891	171,896											
JO-TERRACE	17,516,343	60,315											
極楽橋駅	23,057,411	94,120											
豊國神社前駅	6,908,601	29,472											
小計	101,838,246	355,803											
エレック1号	8,177,229	49,345											
エレック2号	8,860,874	53,528											
エレック3号	8,190,978	48,902											
エレック4号	8,494,684	51,476											
エレック5号	7,576,362	43,731											
エレック6号	1,874,258	11,223											
Jクラシック1号	46,296	294											
Jクラシック2号	0	0											
小計	43,220,680	258,499											
合計	145,058,926	614,302											

課題等

年度半ばの時期にロードトレインの走行速度が速すぎるとの市民の声が寄せられました。それによってもって走行速度を時速12km以下に引下げました。結果として一日当たりの便数が減少し売上減に繋がりました。接遇面や走行に関する不満が市民の声として寄せられている現状では仕方のない事ではあります。各駅でのスタッフの対応などについてはこれまで以上に改善を図って参りました。引き続きホスピタリティーの更なる向上を図っていく必要があると考えております。また、安全管理については以下のとおりの事故の発生がありました。

【令和元年6月21日】京橋口のサクヤルミナ券売所付近にてロードトレインとG20開催対応の警察車両との接触事故が発生。

【令和元年7月7日】櫓公開券売所付近にてエレクトリックカーと観光客男性が背負っていたリュックサックとの接触事故が発生しました。

【令和元年7月20日】多門櫓附近を走るエレクトリックカーのミラーと来園者の接触事故が発生しました。

【令和元年7月30日】ロードトレインの車掌が雁木坂上のバリカーを下げる折、熱せられたバリカーを手から放して足に落下させた事により右足親指を骨折しました。

【令和元年8月10日】大手門で一時停止を行っている際にエレクトリックカーに飛び乗った外国人女性来園者が、走行中にもかかわらず櫓公開券売所を過ぎた辺りで飛び降りて転倒する事故が発生しました。

【令和元年11月9日】青屋門付近に於いて、エレクトリックカーと来園者との接触事故が発生しました。

【令和2年1月1日】雁木坂下り走行時にロードトレインが路面の悪化が原因と思われるスリップにより制御不能となり、梅林側の側柵に衝突する物損事故が発生しました。乗客乗員に怪我はありませんでした。

以上の通り大事故にこそ至りませんでしたが、これらの事象を重く受け止めて、再発防止を図るため運行会社のスタッフ全員が参加する安全大会を定期的に行う事といたしました。雁木坂に関しては勾配が急なため、重量のあるロードトレインではなくエレクトリックカーが走行する事としました。また、雁木坂の路面の悪化に関してはアスファルト舗装の改修を行う事としました。

14. 施設・公園管理にかかる事業報告書

令和元年度は、一昨年の台風 21 号被害を踏まえ、園内巡視時に屋根瓦や枯れ枝のぶら下が
り・落下等がないかの目視点検を強化し、公園利用者の安全確保に努めました。また、昨年相
次いだノートルダム大聖堂、首里城の火災による消失を受け、櫓等の重要文化財施設の緊急点
検を行いました。

G20 大阪サミットの関連イベントや大阪マラソンのフィニッシュ地点の公園内への変更等、
大きなイベントが続いたことから、関係者との施設使用に関する打合せ・調整を密にすると
ともに施設・園路の整備、特別清掃等を行い、円滑な運営に寄与しました。

今後も計画に沿って日常点検や定期点検を行い、その際に発見した不具合については大阪市
公共施設マネジメント基本方針に準じた修繕を実施いたします。

年間・月間作業実績

関係法令等を遵守し、作成した年間・月間維持管理計画に基づいて実施いたしました（資料
1）。昨年度の実績を参考に年間・月間作業計画を作成し、毎月大阪市に報告・承認を得たう
えで実施してまいりました。

今後は新たな施設の建設・運営開始が一段落したこと、各施設・設備の適正な作業時期
について再検討し、作業計画を作成・見直してまいります。

日常点検及び定期点検

公園利用者の安全を確保するため、日々の管理業務と併せて巡視を実施し、施設及び設備の
不具合箇所や不適正利用の早期発見に努めました。公園管理車両は国内外からの公園利用者
に十分注意し、園内走行中のパトライト点滅・放送及び最徐行での走行を徹底しました。

定期点検に関しては年 2 回実施し、報告書を大阪市へ提出するとともに、点検時に発見した
不具合箇所を大阪市と共有しました。

清掃

園内清掃に関しては清掃業者の見直し・責任者の常駐化を行い、日々の清掃状況の確認・指
導を行わせることで品質向上に努めました。

トイレ清掃については各トイレの利用状況により最大で 1 日 4 回まで実施するとともに、洗
浄剤を消臭効果の高い製品に変更し臭気の抑制を図りました。トイレの使用方法等に関して多
言語での案内を行い、利用者のマナー向上を促すよう啓発を行いました。園内清掃については、
ボランティア清掃を積極的に受け入れ市民と一体となった公園美化の推進を図りました。

警備

園内巡回は公園内を大きく3つのエリアに分割して実施し、不適切な公園利用及び明らかにその恐れがあると認められる者を発見した際には直ちに注意・制止し、適正かつ安全な利用を行うよう指導しました。(釣り、スケートボード、高速での自転車走行等の危険行為、犬のリード外し、ドローン飛行、楽器演奏、ビラまき、無許可営業、他の公園利用者に迷惑となるような長時間場所を占用する行為等)

現場に駆け付ける際には不適切な公園利用の早期発見に努めるため、園内をグリッド状に再分割して該当エリアを伝達しやすくなるように工夫しました。公園トイレについても設備員・清掃員にて共通の番号を付与し、迅速に対応できるようにしました。

不適切な公園利用が発生した際には、公園利用者への呼び掛けや注意喚起の看板設置、ホームページ上での啓発を実施することで抑止に努めました。特に、公園利用者の多い休日にも園内巡回を実施することで公園利用者のマナー向上に貢献しました。

また、櫓公開時のチケット売り場前の狭隘箇所における接触事故防止、天神祭りの際の天守閣周辺での花火見物客対応、桜開花時期の森ノ宮交差点付近の渋滞対策等を目的として臨時に警備員を増員配置し、来園者の安全確保に努めました。

事件・事故が発生した際には適切かつ迅速に対応し現場の保存と被害の拡大防止に努めるとともに、大阪市に即時に報告して情報共有を図りました。また、園内巡回のルートや時間帯を定期的に見直すことで事件・事故の未然防止に努めました。

放置自転車・ホームレス対策

公園内における放置自転車対策として、警告札の取り付けや啓発看板の設置を行い、年間で76台の放置自転車を園内移動・保管し、大阪市に報告しました。自転車の高速走行により来園者が危険を感じた等の苦情が増加していることから、巡回警備等により発見した際の声掛け・注意喚起を徹底いたします。

ホームレス対策としては、小屋掛けなどによる不法占用行為がないよう毎日園内巡回を行いました。移動型ホームレス等に対しては公園内で起居をさせないよう定期的に聴聞を行うとともに、大阪市に随時報告を行いました。また、市民の森内に常時駐輪・放置されていた自転車について複数回にわたり話し合いを行い、移動を促すとともに所有者不明のものについては撤去しました。

「公園猫適正管理推進サポーター制度」にかかる対応ほか

公園猫適正管理推進サポーターからの報告書等の提出があった場合は受付を行い、大阪市へ適切に引き継ぎました。動物の愛護及び管理に関する法律に基づき動物の遺棄・虐待・身勝手な給餌行為(置き餌、撒き餌など)の取り締まりを行うとともに、これらの行為を行わせないように注意喚起を行い、公園利用者への啓発に努めました。

バーベキュー対策

平成 29 年末より実施した BBQ の全面有料化により、無許可の BBQ 事業者による長時間の場所取りをとしての営業、大量に発生する放置ごみの問題がほぼ解消されたため、令和元年度も引き続き同様に実施しました。

警備においても、火気を使用した BBQ・花見については速やかに消火するよう依頼し、失火防止に努めました。

光熱水使用実績

年間の光熱水（電気・水道・ガス）使用量のうち電気使用量については、施設の増加に伴い使用量も年々増加しております。（平成 29 年度：6,007 Mwh、平成 30 年度：7,461 Mwh、令和元年度：7,546 Mwh）園路灯の LED 化は今年度にほぼ完了しましたが、引き続き各施設の照明の LED 化、高効率機器への更新等により電気使用量の削減に努めて参ります。

水道使用量に関しては漏水箇所の止水・迅速な修繕の実施により使用量の削減に努めたが、施設の増加に伴い使用量も増加しました。（平成 29 年度：134,171 m³、平成 30 年度：138,135 m³、令和元年度：141,198 m³）

修繕実績

点検等の結果、異常を発見した施設及び設備については危険箇所の注意喚起を行うとともに、簡易な補修・修繕は内製化することにより迅速な復旧に努めました。作業の実施にあたっては、危険防止のための作業エリアをバリケード等で囲い、公園利用者及び作業員の安全対策を講じた結果、施設の不具合による人身事故の発生はありませんでした。（平成 29 年度：111 件・910 万円、平成 30 年度：57 件・1222 万円、令和元年度：55 件・2993 万円／税込）

※平成 30 年度は、台風 21 号被害の復旧関係を除く

廃棄物実績

来園者の増加に伴い、全体のごみの量が増加しており、公園利用者への注意喚起を通じてマナー向上・ごみ持ち帰りの呼び掛けに取り組みました。また、ごみの量に比例して処分費用も増加しているため、運営コストの削減を目的として収集運搬・処分業者を変更しました。

要望・苦情一覧

令和元年度は年間を通じて 61 件の問い合わせや要望・苦情を頂戴しました。公園利用者、市民等から頂いた要望・苦情に対しては誠意を持って対応し、措置が必要なものに対しては原因究明と不具合解消に向けて取り組みました。

車両通行許可

令和元年度は園内の車両通行許可書を 8,428 台分発行いたしました。通行許可にあたっては常に停止できる速度（最徐行）での走行や重量基準(積荷と合わせて 8 t 以下)などを順守し、園内の安全確保に努めるよう指導しました。

占用許可の窓口としての対応業務

占用許可の対応窓口としてイベントの日程調整や安全管理等を主催者側と打合せを行いました。

行為許可

令和元年度の行為許可実績は 916 件 6,792,612 円（税抜）となりました。

課題等

課題としては集客施設やイベントの増加などにともなって公園内のトイレに関して数の不足や清掃状況に対する不満などのお声を多くいただくようになっております。トイレのご利用が集中する際には周辺のトイレもご案内する等して分散化を図り、清掃に関しては洗剤の変更などで臭気の改善を図ることや外国の方にもトイレのご利用方法をよりわかりやすく掲示するなどの対策を行っていきます。なお、本丸のトイレ 2 ヶ所について令和 2 年 3 月に便器や衛生陶器、トイレブースなどを入れ替えるリニューアルを行い、これまで苦情の多かった和式の大便器も洋式化いたしました。

15. 植栽管理にかかる事業報告書

来園者に対し、気持ち良く安全な公園の緑・草花景観を提供するために大阪城公園事務所と適宜打合せを行い、経験、知恵を頂きながら緑地管理を計画し、その都度現場の作業を行いました。また、石垣、濠など大阪城公園特有の施設に対し格別の注意を払い管理を行いました。特に危険な枝について発見したらその都度対応、撤去致しました。引き続き植物発生材は剪定枝、落ち葉、刈り草などの植物ごみを園内処理する目的でチップ化を行い、活性堆肥として園内のマルチングに利用しました。

事業計画に対して

(1) 留意事項

- ① 実施にあたり、関係法令等を遵守するとともに、年間・月間維持管理計画を作成し、モニタリング会議で大阪市の承認を得たうえで、適切な時期・方法により行いました。
- ② 業務の実施にあたり来園者の安全を確保するため、日々の管理業務と併せて土・日・祝日を含めた園内巡視・日常点検を行い、枯枝などの不具合等を発見した場合、適切かつ迅速に対応し、適正な公園利用、維持管理、安全対策に反映させました。しかし樹木個体が枯死した樹木や植栽は、全てを撤去出来ておらず、次年度の課題です。
- ③ 作業にあたっては、危険防止の為作業エリアをカラーコーン、バリケード等で囲い、「作業中・立入禁止」であることを明示し、必要に応じ交通整理員・見張り員・誘導員等を配置し安全対策につとめました。またやむを得ず通行止めや通行規制等を行う場合は、事前に協議し来園者・公園利用者の安全対策を講じました。
- ④ 園内で事故が発生した場合は、速やかに対応・処理・拡大防止を行うとともにその状況等を大阪市及び関係機関に連絡・報告致しました。(令和元年9月山里丸エリアの腐朽・強風によるソメイヨシノ倒木)
- ⑤ 剪定枝葉等の運搬にあたっては、飛散防止対策を講ずると共に過積載防止を遵守し関係法令の定めに従いました。
園内管理車両は公園利用者に十分注意し、最徐行にて走行しました。
- ⑥ 管理対象植物の台帳管理を行いました。また植栽により増数、撤去により減数が発生した場合は台帳更新を行い、別表で管理しました。
- ⑦ 樹木管理にあたっては常に公園内の見通しを確保するために低木を1mの高さに切り下げ

る等の作業を行い、事故や犯罪等の発生の抑制に努めました。

- ⑧ 危険木、枯枝、掛かり枝の早期発見に努め、迅速かつ適切に除去して枝等の落下事故等の発生予防に努めました。また回収、運搬の際には積荷の飛散防止、荷台からはみだした枝などによる事故などの発生予防に努めました。
- ⑨ 当該公園に植栽された植物の特性を踏まえ、植物の良好な生育に必要な作業を、適切な時期に決定した方法で細心の注意をもって作業にあたりました。
- ⑩ 殺虫剤、殺菌剤等の農薬については、公園内保管は行わず、必要になった場合はその都度持参し、使用後の残りは持帰りました。
- ⑪ 殺虫剤、殺菌剤等の農薬使用に際しては、飛散範囲や散布後の効能期間、公園利用者等の健康面（アレルギー等）にも十分配慮して作業を行いました。
- ⑫ 植物の処理については、所定の場所に集積しました。廃棄物の処理及び清掃に関する法律など、関係法令を遵守し、適切に保管・処分を行いました。なお、剪定枝等の処分について、大阪市建設局と協議のうえチップ(活性堆肥)化など、環境に配慮した処分に努めました。

（２）管理の水準

①剪定（高木）

- ・ 樹種特性や樹勢に応じて剪定の必要性や度合いを見極め、適切な時期と方法で行いました。
- ・ 公園樹木の剪定は、自然樹形仕上げを基準とし、骨格枝を更新するなどの方法を活用して樹形を維持しました。
- ・ ウメ、モモ、アジサイ、フジなど花木類の剪定は、花芽の分化時期や着蕾位置に注意して行いました。
- ・ 樹種に応じて枯枝や混みあった枝等の枝抜き（間引き）作業などを行いました。
- ・ 並木等、園路や広場など利用が多い場所は、特に枝の落下等の危険性を除去するとともに、景観面に配慮し、枯枝及び枝抜きなどを適切に行いました。
- ・ 高所作業の災害発生を防止するため、手順書の作成等必要な安全対策を講じ、現場での作業を行いました。

②刈り込み（中低木）

- ・ 低木類が大きく育ち、園路へのはみ出しによる通行障害や見通し不良など不具合があったため、大きく切り詰める作業を実施しました。

- ・密生箇所を刈り透かし、刈地原形を考慮しつつ、年間を通して美観を損ねないよう適切に刈り込みました。
- ・美観を維持する為、主幹園路や掘沿いの刈り込みは連続性をもった景観保持に留意し、エリアごとに完成させてから、次のエリアに移りました。
- ・道路際や園路際で通行障害となる箇所及び施設等と隣接地においては、安全等に配慮し、刈り込みを適宜行いました。
- ・生垣は適切な時期に樹形の整正を行うための刈り込みを行いました。
- ・花木類を刈りこむ場合は、花芽の分化時期と着蕾位置に注意して行い、開花させることができました。
- ・刈り込みの際は、植栽地内及び周辺の除草も併せて行い、ヤブガラシなどツル性の雑草については、出来る限り根から抜き取り除去しました。

③枯木撤去

- ・枯木の有無を日常的に点検し、早期発見と撤去に努め、倒木による事故等を未然に防ぎました。また作業にあたっては安全な作業領域を十分に確保し、事故等を未然に防止しました。
- ・樹木撤去については、原則抜根しております。抜根にあたっては、周辺の舗装、縁石等を損傷しないよう十分注意しました。
- ・抜根は根返り倒木したもの、史跡に影響のないもので実施しました。史跡エリアで抜根が出来ない場合は、切削または地際での伐採を行いました。
- ・根または幹の一部を存置する場合は、事故が生じないよう適宜対策を講じました。

④障害枝等剪定

- ・来園者や管理車両の通行等の障害となる枝や、枝折れによって落下するなど、事故につながるおそれのある枝は切除し、来園者等の安全確保に努めました。
- ・枯枝の有無を日常的に点検し、早期発見と除去に努め、落枝による事故等を未然に防ぎました。

⑤病虫害防除

- ・農薬使用にあたっては、農薬取締法等の関係法令やメーカーの使用安全基準を遵守するとともに、使用を最小限にとどめるように努めました。
- ・農薬は使用時持参し、使用后持帰り保管することを徹底し、大阪城公園内に保管することはありませんでした。
- ・散布に際しては、「公園・街路樹等の病虫害・雑草管理マニュアル（環境省水・大気環境局 平成30年3月）等を遵守するとともに、散布にかかる事前・事後の周知方法及び期間については、事前に大阪市の承諾を得ました。
- ・害虫発生の早期発見に努め、極力、農薬を使用しない方法（剪定防除、捕殺、巣網剪除等）

により防除を行いました。使用する場合は、事前事後の告知等により来園者に周知の上、安全衛生対策を実施しました。

- ・病気発生の早期発見に努め、原因に応じた農薬を使用して早期に改善しました。なお、松枯病、PPV等の発生時には被害の拡大を防止する為の処置を迅速に行うこととしておりました。今現在上記緊急性を要する事項は、確認されていません。
- ・平成28年度にカシノナガキクイムシが発生し、対応したため、令和元年度も引き続き防除として発生樹木(シラカシ、マテバシイ)に対しカシナガホイホイ取り付けの対応を取り対象樹木の枯死を防ぐ事が出来ました。今年度は大阪城公園内では発生しておりません。
- ・平成30年1月に特定外来生物に指定されたクビアカツヤカミキリについて、公園内のバラ科樹木の点検を実施しました。令和元年度フラスは発見されましたが当該害虫では有りませんでした。令和2年度も引き続き点検を実施していきます。

⑥ 灌水

- ・花壇、地被植物、芝生、花木、植栽樹等が枯損しないよう灌水を行いましたが、水分不足になった個体も存在しました。特に特別園は留意し、点検を行う事で水不足意を防ぎます。

⑦ 施肥

- ・施肥を行う際は、樹木特性や肥料の目的（寒肥、追肥等）を考慮し、効果的な時期、方法で行いました。

⑧ その他

- ・不要になった支柱及び添木は残った物もありました。逐次撤去して行きます。
- ・支柱等の結束に使用する針金等は、端部処理及び保護を適切に行いました。
- ・損傷、老朽した支柱や結束材は適宜交換・補修が必要ですが、残った物があります。逐次撤去致します。

⑨ ウメ、モモの管理

- ・花後、早咲きから遅咲きの品種に合わせて翌年の開花に影響を与えないよう速やかに剪定を行いました。また樹形維持のために枝等の更新を行いました。令和元年度の開花状況は前年度の反省を踏まえ作業を行った為、充実していたと考えます。
- ・花後の剪定以降、成長に合わせて芽摘みを行い、小枝の展開と充実を図りました。
- ・開花前に整枝剪定を行い、樹形を整えました。
- ・梅林、桃園の管理については、とくに留意しました。
- ・PPVの感染予防として大阪城公園梅林、桃園専用の剪定鋏、ノコギリを使用し、前後にはアルコール消毒を行いました。また、その道具を誰が何時使用したか履歴確認が出来るよう台帳管理を行いました。

⑩マツの管理

- ・樹木全体や枝ごとの樹形及び樹勢を考慮して、適切な時期に剪定を行いました。
正月を迎える前、年内に剪定を終えることが出来ました。

⑪芝生管理

- ・刈り残しやムラが無いよう均一に刈り込み、除草は部分的に手抜き除草とし丁寧に抜き取りました。
- ・育成の為、エアレーション、目土散布、灌水、施肥等の作業を適切に行いました。
- ・西の丸庭園及び大阪城野球場の芝生管理は、年間を通して常に良好な状態を保つため、芝生の生育状況を把握し、芝刈り、病虫害防除、灌水、施肥、目土等を必要に応じて行いました。
また芝刈りは、樹木、施設などに損傷を与えないよう注意し、刈り残しやムラの無いよう均一に刈り込みました。縁切りは、園路に「ほふく茎」が進入しないよう切り込みました。

⑫地被管理

- ・植樹帯等にある地被については、ごみ、雑草、落ち葉等の堆積に留意し、適正に管理しました。また、枯等により景観を損ねた場合は補植しますが令和元年度に補植は有りませんでした。

⑬花壇管理

- ・園内の路地花壇、プランター等は常に美しく鑑賞できるよう年間計画工程を作成し、植替えを行いました。
- ・適宜、中耕除草、花がら摘み、灌水、施肥等の必要な作業を実施し、草花の良好な状態を維持しました。

⑭野球場・太陽の広場等の整備

- ・野球場や太陽の広場等のメンテナンス作業を行う場合は、事前に利用状況等を確認し、年間のメンテナンス計画を作成して作業を行いました。作業の実施にあたっては、オーパスシステムに作業日時を登録し施設利用者に周知しました。
- ・運動施設の機能性や安全性、快適性に配慮し、常に良好な状態を維持するよう努めました。
- ・必要に応じて、土入れ、不陸整正、集積枳清掃などを行いました。

⑮堀及び流れ等（自然形態の水景施設）の水面清掃

- ・堀の水面の環境保全、美観や景観保持のため、全域の藻や浮草等の状況を点検し、ボート等の機材を活用して、除去作業は年1回（冬季）、場所によっては2回（東外堀、内堀トライアスロン開催による）を基本に実施しました。また、藻や浮草の繁茂の状況に応じて、適宜、

全域あるいはエリア別に同様の作業を行いました。特に 6 月の藻が発生する手前で駆除することで大量発生を防ぐことができました。

- ・掘に面して陸地等から除去が可能な藻や浮草、浮遊ゴミについては日常的に除去作業を行いました。
- ・流れ等は、藻や浮草、浮遊ゴミの除去を中心に清掃を行いました。
- ・水質浄化装置を設置し、テストを行っております。

⑩空堀清掃

- ・空濠の環境保全、美観や景観保持のため、全面、夏季及び冬季に年 2 回、石垣に付着する草、雑草や雑木、ゴミ等の除去を行いました。また、雑草等の繁茂状況やごみの状況に応じて、適宜、全面あるいはエリア別に同様の作業を行いました。

⑪石垣清掃

- ・石垣の環境保全、美観や景観保持のため、石垣の間から発育する雑木や雑草、石垣に付着する草、ゴミ等の除去作業を行いました。全体を冬季に実施しました。
- ・石垣清掃実施時には、併せて空濠、濠の水面清掃を実施しました。
- ・石垣等の清掃にあたっては、2 本のロープで作業員を確保し墜落災害の防止に努めました。
- ・トライアスロンの開催に伴い、9 月上旬に会場の東外濠及び内濠の石垣清掃を行いました。

⑫公園の魅力向上

- ・森ノ宮エリアに店舗と共に芝生広場やボタニカルショーケース、せせらぎ植栽帯の維持管理を行いました。また、ヴィスタラインを確保できるよう高木の切り下げ剪定を実施しました。今後は公園の玄関として、また、おもてなしの空間として相応しい管理を実施していきます。
- ・JO-TERRACE OSAKA 及び MIRAIZA OSAKA-JO、COOL JAPAN PARK OSAKA などの商業施設については清潔感を第一に、周辺の植栽管理を実施していきます。

⑬課題や今後の取り組みについて

5 年間評価の植栽部分で B- の評価を受けました。特にウメ、モモ、サクラについては重要視し、管理に力を入れる必要があると考えます。また、市民参画も強化する必要があります。情報発信を含めて力を入れていき、有識者の知恵を借りる事で市民、来園者が安全に楽しめる空間を作れるよう努力していきます。

16. 観光拠点化の推進にかかる事業報告書

当初予定していた施設整備については昨年度までにすべて完了することができ、令和元年度からは整備した施設を活かして公園全体の観光拠点化推進に注力し、下記の事項について検討及び実施しました。

【1】ホームページの更新

大阪城パークセンターのホームページについて全面更新をしました。タイトルも「特別史跡大阪城公園」として歴史公園であることを前面に打ち出しております。各施設へのリンクも利用者に分かりやすく改善を図り、来園者の周遊性を高めるためのモデルコースの設定や全面的な多言語化など行いました。多言語化についてはまだ不完全部分もありますが、今後充実を図っていく予定です。また、新たな史跡案内板の設置に合わせて史跡案内ページにも同様の内容を追加し、多言語化を行っております。

【2】プロモーションについて

5月に行われた台湾での旅行博覧会（台北及び高雄）、10月に大阪で行われたツーリズムEXPOジャパン、12月に横浜で開催されたお城EXPOにそれぞれ出展をいたしました。台湾での旅行博では1,000名以上の来場者からアンケート回答をいただき、台湾からの旅行者の傾向や認知度などを知ることができました。また、ツーリズムEXPOでは大阪観光ボランティアガイド協会の方にもブースでの大阪城や展示物の説明などでご協力をいただき、一緒になって大阪城の観光PRをすることができました。

また、すでに実施しているフェイスブックやインスタグラムでのSNSを通じた情報発信を引き続き行うことやランドオペレーターへのファムトリップなども実施し、インバウンド向けの旅行商品の造成を行っていきたいと考えています。

【3】園内サインの見直し

天守閣のサインについて全面的に更新を行いました。さらに公園全体の地図表示について見直しを行い、ホームページの地図更新を行いましたが、園内の案内板については検討段階で今後行っていききたいと思います。また、園内の史跡解説板を旧第四師団司令部庁舎(MIRAIZA OSAKA-J0)などの未整備の近代遺産を中心に観光庁及び文化庁の補助金制度を活用し、20箇所新たに設置いたしました。これまでの日本語と英語の解説板に加え、QRコード活用して簡体字、繁体字、韓国語の解説も行いました。

【4】櫓公開事業

櫓公開事業では、これまで日本語と英語しかなかったパンフレットの多国語対応（英、中繁、中簡、韓国）を行いました。

4月～3月まで 公開日数 123日 入場者数 84,227人（平成30年度105,435人）

【5】イベントの実施

大阪城公園の魅力向上のための賑わいづくり事業として各種イベントを行いました。

- ・西の丸庭園：観桜ナイト2019（4/1～4/14）

集客数：82,135 人

- ・西の丸庭園：「黄金の茶室」展示及びフォトサービス事業（4/1～12/26）

利用件数：455 件

- ・大阪城内堀：大阪城御座船（4/1～3/31）

利用者：206,768 人

- ・西の丸庭園：櫓特別公開 2019（4/1～3/31）

※12月～2月除く土日祝のみ/春・夏連日公開

利用者：84,692 人

- ・京橋口～山里丸：大阪城ナイトウォーク「SAKUYA LUMINA」（4/1～3/31）

集客数：35,998 人

- ・西の丸庭園 他：大阪城謎解きゲーム第6弾 天下人 豊臣秀吉（4/1～5/12）

集客数：1,523 人

- ・記念樹の森：大阪城「和一べきゅー」2019（4/1～6/6）

利用人数：60,400 人

- ・大阪城天守閣：「登閣符」の販売（4/24～5/2）

令和改元を記念し「平成最後の入館記念」と「令和最初の入館記念」の登閣符を販売した。

1枚300円 各5,000枚

- ・豊国神社前：春の風鈴クラフトまつり（4/27～5/6）

- ・太陽の広場：餃子フェス OSAKA 2019（4/30～5/6）

集客数：206,500 人

- ・大阪城天守閣：「日本～悠久の歴史 大阪城ファミリーフェスティバル 2019」(5/1～5/3)

参加者：約 5,700 人 (3 日間合計)

- ・本丸広場：天下統一お茶飲み比バイベント (5/4)

- ・本丸広場：豊国踊りに真田幸村参上」(8/1)

参加者：約 900 人

- ・大阪城公園駅前：大阪城マルシェ (9/14～15)

- ・豊国神社前：秋の風鈴クラフトまつり (9/15～23)

- ・西の丸庭園：WONDER LUST (10/5)

参加者：536 人

- ・大阪城公園駅前：大阪城クラフトビアホリデイ 2019 (10/11～14))

集客数：14,466 人

- ・「大阪城・エッゲンベルグ城友好城郭提携 10 周年記念フォーラム

グラーツ・エッゲンベルグ城の魅力と「豊臣期大坂図屏風」(11/2)

参加者：224 名

- ・大阪城天守閣：「大阪城・エッゲンベルグ城友好城郭提携 10 周年記念

外交の舞台・大阪城～大阪城の秋まつり 2019～」(11/3～11/4)

参加者：約 3,200 人 (2 日間合計)

- ・大阪城天守閣：「大阪城天守閣のお誕生日」を記念して登閣証明書を配布(11/7)

先着 5,000 名の方に登閣証明書を配布した。

- ・大阪城公園駅前：森ちゃんのラーメンフェスタ (11/15～17・11/22～24)

集客数：55,865 人

- ・西の丸庭園：大阪城イルミネージュ (11/22～3/1)

集客数：57,899 人

- ・大阪城天守閣：「令和最初のお正月～ちょろけんと大神楽～」(1/2～1/3)

参加者：約 1,600 人 (2 日間合計)

【ケータリングカー・露店営業】

- ・西の丸庭園：観桜ナイター露店 (4/1～4/14)
- ・城南エリア：桜のグルメ茶屋 (4/1～4/14)
- ・森ノ宮口：植木市のグルメ茶屋 (4/1～5/31)
- ・森ノ宮口：納涼茶店ストリート (7/1～9/15)
- ・森ノ宮口：森のグルメ茶屋 (9/29～11/30)
- ・森ノ宮口：クリスマスのグルメ茶屋 (12/2～12/26)
- ・森ノ宮口：寒梅グルメ茶屋 (1/5～3/21)
- ・城南、青屋門、東外濠、大阪城ホール前：露天営業 (4/1～)

課題等

イベント誘致に関しては春や秋の気候の良い時期には週末を中心に多くのイベントが開催されておりますが、夏や冬のイベントがまだ不足しており、夏の本丸での豊国踊りや冬の西の丸庭園の大阪城イルミネージュなどを開催しておりますが、今後も太陽の広場などにイベントを誘致する他、隣接するJO-TERRACE OSAKAはマルシェ事業等を通じて観光客に加えて周辺住民の集客向上も行っていきたいと思っております。

また、これまで整備した施設についても認知度の向上が課題であり、今後ネットやメディアを通じたPR強化や季節に応じたキャンペーン施策、ホームページの改善などでの認知度向上を図ってまいりたいと思っております。